XII　プロジェクトの評価基準にかかるコメント

本プロジェクトの実施目標：漁業学校における漁業教育の充実を可能な限りはかる。その教育充実をはかるために専門家及びＣＰが協力期間中実施すべき作業内容／項目及び計画については，今後専門家の赴任を待って，ア側と具体的に協議され，かつ実行に移されていくことになろう。

プロジェクトの実施に伴なって，どの程度教育の充実をはかりえたか（その最終目標達成値・レベルにつき明確に事前設定はなしがたい），その程度をおおまかにもせよ評価するに当たっての座標となりうるものとして，以下のものが考えられる。

（注）現学校における教育内容，レベル，施設がプロジェクトを評価する上での出発点（基準点）となろう。現学校と新学校における量的，質的変化を項目別に単純明瞭に掌握できるよういずれ工夫されようが，本来プロジェクト評価論については，エバリュエーションチームによって検討され，又適切な指導がＪＩＣＡからなされることになろう。

Ⅰ　国立漁業学校への入学／卒業

入学応募者数（各コース別）

入学者数

海技資格取得者

自由試験受験者と合格者（海技資格取得者）

Ⅱ　試験内容，レベル

入学試験

中間　〃

最終　〃

自由国家試験

Ⅲ　入学条件

学校入学資格

資格取得条件

自由国家試験受験条件

Ⅳ　カリキュラム（教科内容）

現行カリキュラムと再編成

単元数

半日制授業から全日制への移行

教育期間の延長

Ⅴ　教育内容の量的，質的変化

各種演習

海上実習

教育項目の変化

Ⅵ　ソフトウェア

テキスト類の改訂，増補，新規作成

講義ノート

演習，マニュアル作成

視聴覚教材の製作

その他，各種補助教材の製作

Ⅶ　施設，教材の充実（物理条件）

Ⅷ　人的資源の変化

ＣＰの配置，レベル

管理関係者，教育関係者の増員，フルタイマー化

専門家の派遣

Ⅸ　運営管理費

海軍予算

海洋庁からの補助金

Ⅹ　入 学 率

Ⅺ　奨学金取得者

民間会社による自社社員に対する奨学金支給状況

Ⅻ　就職関係

入学前の就業内容，資格取得後の就職状況

XⅢ 社会的一般評価

漁業会社

水産加工関連会社

そ の 他

59年11～12月派遣予定

00万円現地調達予定）

I 概　況

1) 国　名　アルゼン

2) プロジェクト名　（和文）

（西文）

（英文）

3) 協力期間　5年（

（注）

（注）

4) 相手国協力期関　（和文）

（西文）

5) プロジェクト住所　（現学校

氏　名	所　属	期　間（予定）
未　定	官ペース	59. 8 1～62. 3 31
内清文	JICA水産室	59. 4.中旬～62. 3. 31
本啓治郎	日本水産	59. 6. 1～62. 3. 31
玉哲明	〃	59. 6 1～62. 3. 31
内敏正	〃	59 8. 1～62. 3. 31
未　定	未　定	59. 10. 1～59. 12. 31
〃	〃	60. 2. 1～60. 3. 31
〃	〃	59. 11. 1～59. 12. 31
〃	〃	59. 10. 1～59. 12. 31

II 実　績

1) 調査団　56. 4　58. 3　58. 10

間についてはプロジェクト開始後の進捗状況をみて決定する。場合に家を派遣しないこともありうる（ア側と協議済み）。

野	氏　名	時　期
教育視察	海軍教育総局長Diamante	60年1月　2週間
〃	未　定	
物処理	〃	60年2—3月　1ケ月
定	〃	〃　〃

2) 機材供与金額

3) 専門家派遣　55年　56 〃　57 〃　58 〃

定されていないが，上記A，Cを最優先して受入れ予定。高級研修員の地位からして，ブエノス支部を通じて招請レターを発信することも止受入れることになろう。

4) 研修員受入れ　55年

きるだけ向上せしめ，もってア国の漁業発展に資する。

56 〃

中。

演習マニュアル作成，視聴覚教材を含む副教材の作成，陸上・海上実

57 〃

業教育の向上をはかる。

58 〃

設（58年度予算，10億8千万円，60年初旬完工予定）

アルゼンティン国立漁業学校プロジェクト概要表

57. 3. 14

プロジェクトNo.0780603
予算区分　農林業協力費
担当部　林開部，水産室

I 概況

1) 国名：アルゼンティン共和国

2) プロジェクト名
（和文）　国立漁業学校プロジェクト
（西文）　el Proyecto de la Escuela Nacional de Pesca
（英文）　National Fisheries School Project

3) 協力期間：5年　（59年4月1日～64年3月31日）
（注）　3年目に協力期間の見直しが行われる。
（注）　R／D署名日　58年12月9日

4) 相手国協力期関
（和文）　ア国，海軍教育総局
（西文）　Dirección General de Instrucción Naval, Aramada Argentina

5) プロジェクト住所
（現学校）　Rivadavia 3721, Mar del Plata　ブエノスアイレスより約450km南。

II 実績

1) 調査団

技協ベース	無償ベース
56. 4. 3－4. 23 事前調査団	58. 7. 26－8 19 基本設計
58. 3. 7－3. 24 実施協議	58. 10. 15－10 24 ドラフトレポート説明
58. 10. 22－11. 11 計画打合せ	

2) 機材供与金額

3) 専門家派遣

	機材	専門家 長期	専門家 短期
55年度	0円	0人	0人
56 〃	0	0	0
57 〃	0	0	0
58 〃	0	0	1

（長期調査員58. 7. 26－8. 12）

4) 研修員受入れ

55年度	55. 9. 29－10 24	Benjamin R. Aguirre（海洋庁顧問）
	〃　〃	Rubén Ercoli（INIDEP漁具漁労調査部長）
56 〃	57. 1. 31－2 20	Justo A. I. Ortiz（国立漁業学校長）
	〃　〃	Héctor O. Colangelo（INIDEP調査船舶部長）
57 〃	0	
58 〃	59. 1. 13－2 3	Alfonso D. Giavedoni（国立漁業学校副校長）
	〃　〃	Diego R. Maqui（同校教授－漁具漁法）

III 計画

1) 調査団：59年度　巡回指導チーム（4名）　59年11～12月派遣予定

2) 機材供与金額：59年度　5,000万円（内，約1,000万円現地調達予定）

3) 専門家派遣計画

59年度	分野	氏名	所属	期間（予定）
長期	チーフ・アドバイザー	未定	官ベース	59. 8. 1～62. 3. 31
〃	調整員	中内清文	JICA水産室	59. 4.中旬～62. 3. 31
〃	漁具漁法	猪本善治郎	日本水産	59 6. 1～62. 3. 31
〃	漁獲物処理	児玉哲明	〃	59. 6. 1～62. 3 31
〃	航海・漁業計器	井内敏正	〃	59. 8. 1～62. 3. 31
短期	漁具設計	未定	未定	59. 10. 1～59. 12. 31
〃	航海計器	〃	〃	60. 2. 1～60. 3. 31
〃	水産加工	〃	〃	59. 11. 1～59. 12. 31
〃	視聴覚教材	〃	〃	59. 10. 1～59. 12. 31

（注）　短期専門家の派遣分野，期間についてはプロジェクト開始後の進捗状況をみて決定する。場合によっては，59年度短期専門家を派遣しないこともありうる（ア側と協議済み）。

4) 研修員受入れ

59年度	区分	分野	氏名	時期
A	高級研修員	漁業教育視察	海軍教育総局長Diamante	60年1月　2週間
B	〃	〃	未定	
C	一般研修員	漁獲物処理	〃	60年2—3月　1ケ月
D	〃	未定	〃	〃　〃

（注）　受入れ枠については最終決定されていないが，上記A，Cを最優先して受入れ予定。高級研修員の場合，ア国の事情，同人の地位からして，ブエノス支部を通じて招請レターを発信することも止むなし。又，口上書のみにて受入れることになろう。

IV プロジェクト内容

1) 目的：国立漁業学校における漁業教育をできるだけ向上せしめ，もってア国の漁業発展に資する。

2) 事業計画：具体的活動計画については現在作成中。
使用テキストの改訂，増補，各種演習マニュアル作成，視聴覚教材を含む副教材の作成，陸上・海上実習にかかる指導，助言を通じて漁業教育の向上をはかる。

3) 関連事情：水産無償協力による新学校施設の建設（58年度予算，10億8千万円，60年初旬完工予定）

アルゼンティン国立漁業学校プロジェクト経緯一覧表

1980 (55)	1981 (56)	1982 (57)	1983 (58)	1984 (59)	1985 (60)	1986 (61)	1987 (62)
昭和53年8月　鈴木善幸前農林水産大臣訪ア時，ア国より非公式に援助要請あり。							
昭和54年10月　ヴィデーラ前ア国大統領訪日時，故大平首相との共同コミュニケにおいて「漁業訓練センター」（旧名称）に関し，援助を行う用意のある旨の声明が発表された。							
昭和55年4月　ア国経済省海洋庁から同センター計画構想につき協議したい旨の要請あり。							
▲9／29～10／24　研修員2名（Aguirre 海洋庁顧問及び Ercoli・INIDEP漁具漁法部長）来日 日本の漁業教育施設視察及びセンター計画打合せ							
	▲4／3～4／23　事前調査団（技協ベース，森沢基吉団長他5名）						
		▲1／31～2／20　研修員2名（Ortiz 国立漁業学校長，Colangelo・INIDEP船舶部長）来日 日本の漁業教育施設視察及び無償システム・技協プロジェクトシステム説明					
		▲5月　新漁業学校（旧名：漁業訓練センター）設立にかかるア側基本設計構想案の送付あり（外務ルート経由）					
			▲3／7～3／24　実施協議調査団（技協ベース，恩田幸雄団長他5名） 技協プロジェクト・マスタープランにつき大筋合意				
				▲7／26～8／19　基本設計調査団（無償ベース，小坂党団長，OAC設計，日水等）			
				▲7／26～8／12　長期調査員派遣（深田耕一，水産大学校助手，基本設計調査団の一員として派遣，費用出所は技協ベース農林業協費）			

1980 (55)	1981 (56)	1982 (57)	1983 (58)	1984 (59)	1985 (60)	1986 (61)	1987 (62)
			▲10/15～24　基本設計ドラフト・レポート説明チーム（無償ベース，小坪党団長他4名）				
			▲10/22～11/11　計画打合せチーム（技協ベース，恩田幸雄団長，小坪副団長他5名）R/Dの仮署名を行なった。				
			▲10/30　アルゼンティン総選挙日（大統領，連邦議会議員，地方議会議員，州知事等の総選挙実施される）				
			▲12/5　軍事評議会解散，大統領は特別法律（日本コンサルタント，日本建設業者コントラクターとア国海軍との民間契約を可能にするための特別の臨時立法）に署名，発効。				
			▲12/7　無償援助10億8千万にかかる政府間交換公文（E/N）署名（斉木特命全権大使 ― ア国外務大臣）				
			▲12/9　技協プロジェクトR/D正式署名（ブエノス斉藤支部長 ― Bonino 海軍教育総局長）				
			▲12/10　アルフォンシン新大統領（急進党）へ政権移譲				
			▲1/13～2/3　Giavedoni 国立漁業学校副校長及びMaqui 同校教授（漁具漁法担当）来日，漁業教育施設視察及びプロジェクトにかかる打合せ。				
			▲1/末～2/初　OAC設計，日水コンサルタント，詳細設計にかかる打合せのため訪ア。				
			▲2/27～3/10　建築業者（コントラクター）の入札審査立ち会い及び建設契約締結のためOrtiz 校長及びUbaldo Fernando Cauceyro 海軍教育総局会計士（海軍中佐，Capitan de Fragata Contador，Fefe Division Requerimientosvy Asignaciones）来日				
			▲3/3　フジタ工業及び三井物産（建設業者）↔ア国海軍，建設契約締結				

調査団の派遣（技協ベース）

	1981（56）	1982（57）	1983（58）	1984（59）	1985（60）	1986（61）	1987（62）
事前調査団	○―○ 4／3～4／23（21日）	① 団長 森沢基吉 漁業共済基金理事長 ② 漁業一般 山本 堯 水産庁漁船課漁船検査官 ③ 漁業教育 勝木 茂 文部省職業教育課教科調査官 ④ 協力企画 横井 茂 農林水産省国際協力課海外技術協力官 ⑤ 業務調整 雲見昌弘 国際協力事業団水産技術協力室					
実施協議調査団			○―○ 3／7～3／24（18日）	① 恩田幸雄 団長・総括 （社）日本栽培漁業協会理事長 ② 前田 弘 漁業訓練 水産大学校（下関）教授（漁法学） ③ 勝木 茂 漁業教育 文部省初等中等局職業教育課教科調査官 ④ 浜田研一 協力企画 水産庁海洋漁業部国際課海外漁業協力室技術協力係長 ⑤ 中内清文 業務調整 国際協力事業団林業水産開発協力部水産業技術協力室職員			
計画打合せ調査団			○―○ 10／22～11／11（21日）	① 恩田幸雄 団長・総括 （社）日本栽培漁業協会理事長 ② 小坪 覚 副団長・漁業技術 水産庁海洋漁業部国際課々長補佐 ③ 前田 弘 団員・漁業教育 水産大学校教授（漁法学） ④ 深田耕一 団員・訓練計画 同上助手（漁業学科） ⑤ 中内清文 団員・業務調整 国際協力事業団林業水産開発協力部水産業技術協力室			

調査団の派遣（無償資金協力ベース）

	1983（58）	1984（59）	1985（60）	1986（61）	1987（62）	1988（63）
新学校建設にかかる基本設計調査団	7／26～8／19	① 小坪 党団 長 水産庁海洋漁業部国際課（7／26～8／12） ② 喜多村 尚也 無償 外務省経済協力局経済協力第二課（〃） ③ 深田 耕一 水産教官 水産大学校漁業学科（〃）長期調査員 ④ 中内 清文 調整 国際協力事業団林業水産開発協力部水産業技術協力室（〃） ⑤ 大橋 昇 建築 ㈱OAC設計（7／26～8／19） ⑥ 西守 憲廣 〃 同上（7／26～8／15） ⑦ 高橋 武伸 水産 日本水産株式会社（〃） ⑧ 花村 剋己 〃 同上（〃） ⑨ 阪本 好伸 〃 同上（〃）日水自己負担				
ドラフト・レポート説明チーム	10／15～10／24	① 小坪 党団 長 水産庁海洋漁業部国際課 ② 中内 清文 調整 JICA水産室 ③ 大橋 昇 建築 ㈱OAC設計 ④ 花村 剋己 水産 日本水産㈱				
		12月上旬蔵本職員訪ア（無償部業務課）	58年12月5日 特別法律にかかる大統領署名及び軍事評議会解散 12月7日 E／N署名 12月9日 R／D署名			
		1月下旬～2月上旬	OAC設計，日水関係者，詳細設計説明のため訪ア			
		2／27／3／10	Ortiz 校長及び Cauceyro 海軍教育総局会計士来日（建設業者入札審査立ち合い及び建設契約締結のため）			

専門家の派遣

分野 ＼ 年	1983 (58)	1984 (59)	1985 (60)	1986 (61)	1987 (62)	1988 (63)	1989 (64)
プロジェクト協力期間		プロジェクト実施期間（59. 4. 1 ～ 64. 3. 31）			（期間見直し）		
（長期専門家）		R／D上派遣予定の専門家					
チーフアドバイザー		○			△		×（官）
コーディネーター		○			△		×（JICA）
専門家（漁具漁法）		○			△		×（民間）
〃（漁獲物処理）		○			△		×（〃）
〃（航海・漁業計器）		○			△		×（〃）
（短期専門家）							
1 訓練計画（長期調査員）	○→×（7／26～8／12）	深田耕一（下関・水産大学校助手／漁業学科）					基本設計調査団に合流
2 漁具設計		○→×	59. 10. 1 ～ 12. 31（3カ月）				
3 航海計器（レーダーシュミレーション）			○→× 60. 2. 1 ～ 3. 31（2カ月）				
4 水産加工		○→×	59. 11. 1 ～ 12. 31（2カ月）				
5 漁業教育用視聴覚教材製作		○→×	59. 10. 1 ～ 12. 31（3カ月）				
6 漁業教育指導							文部省
7 漁業教育カリキュラム編成							〃（水産高校）

ＣＰの研修（実績）

年 / 分野	1980 (55)	1981 (56)	1982 (57)	1983 (58)	1984 (59)	1985 (60)
漁業訓練事情視察	○—×	(9/29～10/24)	① Benjamin Roberto Aguirre（海洋庁顧問，退役海軍大佐）		高　級	
			② Rubén Ercoli（INIDEP，漁具漁労調査部長）		準高級	
漁業教育視察			○—× (1/31～2/20)	① Justo Alberto Ignacio Ortiz（国立漁業学校長，退役海軍大佐）		準高級
				② Héctor Omar Colangelo（INIDEP，調査船舶総括部長）		〃
漁業教育視察				○—×	(1/13～2/3)	
				① Alfonso David Giavedoni（国立漁業学校副校長，退役海軍中佐）		一般
				② Diego Rogelio Maqui（同校漁具漁法担当教授）		
漁業教育視察（高級）2週間						……
漁獲物処理　（一般）1ケ月						……
未　　定　（高級）						?
〃　　（一般）						?

機 材 供 与

年	1983 (58)	1984 (59)	1985 (60)	1986 (61)	1987 (62)	1988 (63)	1989 (64)
		プロジェクト協力期間（59. 4. 1 ～ 64. 3. 31，但し3年目に協力期間の見直しを行う）					
		準備期間	本格実施期間				
	当初計画額 （3,000万円） ↓ 減額 （500万円） ↓ 減額 （0円） （注） 59年度への繰越はなし。	水産室から農計部への予算要求額 （8,000万円） ↓ 計画額（確定） （5,000万円） （注） 3分野の専門家の派遣を待って機材内容を確定する。 （注） 総合的見地から妥当な場合には，現地調達を積極的に実施する。					

第 2 部　資　料　編

I. 現学校における試験及び自由試験

目　　次

Navegacisn

Aritmetica, Algebra, Geometria

Examen Regular(1983)

Navegacisn

Arles ole Pesca

Tecnologia Pesguera

Examen Libre

Navegacisn(1983. 6)

Tecnologia Pesguera

Examen Libre

Maniobra(1983. 6)

Navegacisn

Artes ole Pesca

Tecnologia Pesguera

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

T E M A S D E E X A M E N E S

INDUSTRIA ARGENTINA

PATRON DE PESCA COSTERA

EXAMEN DE INGRESO

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983

CURSO: PATRON DE PESCA COSTERA

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983.

- - - - - -

NO SE PERMITIRA PEDIR A COMPAÑEROS NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.
Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.
Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.
Conteste en el mismo orden en que están las preguntas.
EN ESTA HOJA NO SE CONTESTAN LOS TEMAS.

- - - - - -

ARITMETICA - ALGEBRA - GEOMETRIA

1) Calcular usando decimales:

$$\frac{(1 - 0,5)^2 : 0,25 + 0,75}{0,5 \cdot (1 - 0,25)} \cdot 0,3 =$$

2) Calcular usando fraccionarios:

$$\frac{-\frac{1}{2} + \sqrt[3]{\frac{11}{8} + 2} - \frac{3}{4}}{\frac{\frac{4}{5} + 3}{2^{-1}} - 5} =$$

3) Suprimir paréntesis, corchetes y llaves y calcular el resultado en:

$$-1 - \{-3 + [4 + 5 - (3 - 5) + 1] + 2\} =$$

4) Un patio rectangular tiene 15m de largo y 3,8 dam de perímetro. Se desea recubrirlo con una capa de arena de 50mm de espesor.
¿Cuánto se gastará si el quintal de arena cuesta 1790$ y si el m^3 de arena pesa 1,8T?

5) Calcular la superficie en piés cuadrados de un triángulo rectángulo cuyos catetos miden: cateto mayor: 2 yardas + 6,2 pulgadas + 10 pulgadas y cateto menor: 15,2 líneas + 2 piés.

6) Calcular en metros: 2,5 millas marinas + 12,1 cables - 5 brazas.

7) Si 24 obreros pueden finalizar un trabajo en 46 días trabajando 7 horas diarias ¿cuántos días emplearán si se aumenta en 18 el número de obreros y trabajan 1 hora diaria más?

8) Calcular los $\frac{3}{5}$ de (90° - 24°36'49") =

9) En el $\overset{\triangle}{ABC}$; $\hat{A}$ = 69°14'46"
$\hat{C}$ = 79°46'16"

Averiguar a) el valor de $\hat{B}$ =
b) cómo es el triángulo por sus lados y por sus ángulos y por qué.
c) cuál es el menor lado y por qué.

10) Calcular la longitud en cm de una circunferencia de 2,95 m de radio.

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983

CURSO: PATRON DE PESCA COSTERA

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983.

- - - - - - -

NO SE PERMITIRA PEDIR AL COMPAÑERO NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.

Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.

Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.

- - - - - -

CASTELLANO

HIMNO NACIONAL ARGENTINO

Escriba encolumnadas las estrofas que se entonan, sin omitir la exacta colocación de todos los signos de puntuación e indicando además todas las estrofas que se repiten.

EXAMEN REGULAR

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : PATRON DE PESCA COSTERA

"M.A N I O B R A"

ALUMNO: FECHA: 1º Término/83

1) Enuncie el principio de Arquímedes.

2) Dibuje una escala de calado en piés. Indique cómo se gradúa y cómo efectúa la lectura.

3) Calcular la carga de rotura y la carga de trabajo de un cabo nuevo de manila, de 18,2 cms de mena.

4) Qué significa engalgar anclas y cuál es su rendimiento?

5) Por qué grilletes está integrado el tramo inicial de la cadena de un ancla (ordenadamente).

6) a) Qué es la curva de evolución de un buque?

   b) Qué es el punto pivote?

7) a) Qué es el centro vélico de una vela?

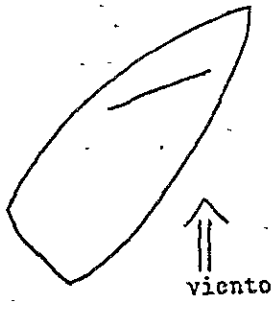
   b) Qué ocurre con la embarcación cuando

      I) el Cv a popa de C.
      II) el Cv a proa de C.

8) Qué denominación dá al efecto evolutivo de la hélice y al efecto evolutivo del timón.

9) Mencione y explique las distintas construcciones en madera de una embarcación menor.

10) Grafique en el siguiente esquema los efectos que produce la resultante del viento en una embarcación menor de vela.



E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : PATRON DE PESCA COSTERA

"N A V E G A C I O N"

TABLA DE MAREAS/80

ALUMNO: FECHA:

1) Enumerar todos los tipos de corredera que conozca, y detallar la corredera "Holandesa" o de "Fortuna".

2) Describa el principio de funcionamiento de una ecosonda.

3) ¿Qué ventaja tienen los compases "líquidos" sobre los "secos"? ¿Por qué se llaman así los primeros? ¿Qué precauciones deben tenerse con los mismos?

4) Detallar brevemente cómo se confecciona una tablilla de desvíos.

5) ¿Cuándo adquieren los hierros del buque un magnetismo permanente? ¿Qué provocan los mismos sobre la aguja del compás?

6) ¿Qué representan los coeficientes A-B-C-D y E?

7) En una compensación de afine ¿qué desvíos se compensan con las esferas Thompson?

8) ¿Qué entiende por "mareas de SICIGIA" y "mareas de CUADRATURA"?

9) A fin de fondear en Bahía Laura, se desea saber desde qué hora y hasta qué hora (después de 1200 hs, del día 27 de abril de 1980), se podrá llegar a dicho fondeadero con un buque cuyos calados son: P_R=4,50m y P_P=5,20m. El sondaje indicado en la carta es de 3,40 m y el margen que desea tener el Capitán es de 2,0m.

10) Un buque zarpa a Hb=0800(+3) del fondeadero de Bahía Engaño (φ_e=43°20'S y ω_e=65°01'SW) con destino a zona de pesca.

a) A dicha hora se hace Rv=060°

b) Calcular el Rc que corresponde a dicho Rv Rc=

c) A Hb=0830 se marca Fo. Chubut con una demora α=166° y distancia radar: D_R=6'7 al mismo faro.

d) Calcular velocidad del buque para dicho instante Vb=

e) A Hb=0900 se marcan:
Fo. Chubut Mc=228°5
Caída Barranca Norte Mc=268°5

f) A Hb=0930 se marca:
Caída Barranca Norte Mc=256°
y se sitúa la posición con marcación sucesiva al mismo punto.

g) En dicha posición se calcula la nueva velocidad Vb=

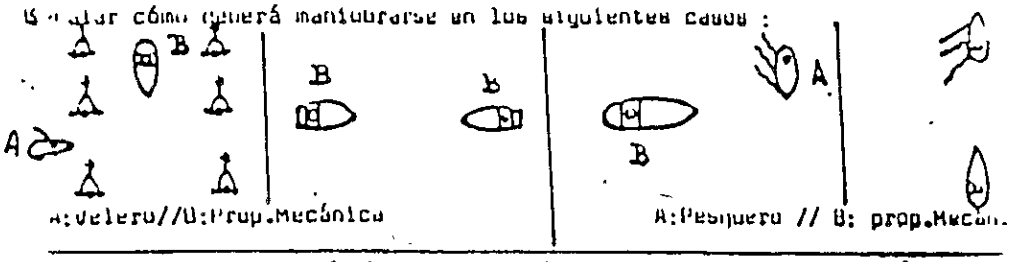
h) Desde esta última posición se continúa por estima hasta una distancia D=17'5, navegando al Rv=060°

i) Obtener las coordenadas del último punto obtenido y la hora de llegada al mismo:

φ_e=
ω_e=
Hb =

1) En el siguiente gráfico indicar cómo se debe maniobrar y las pitadas que se deb. emitir:

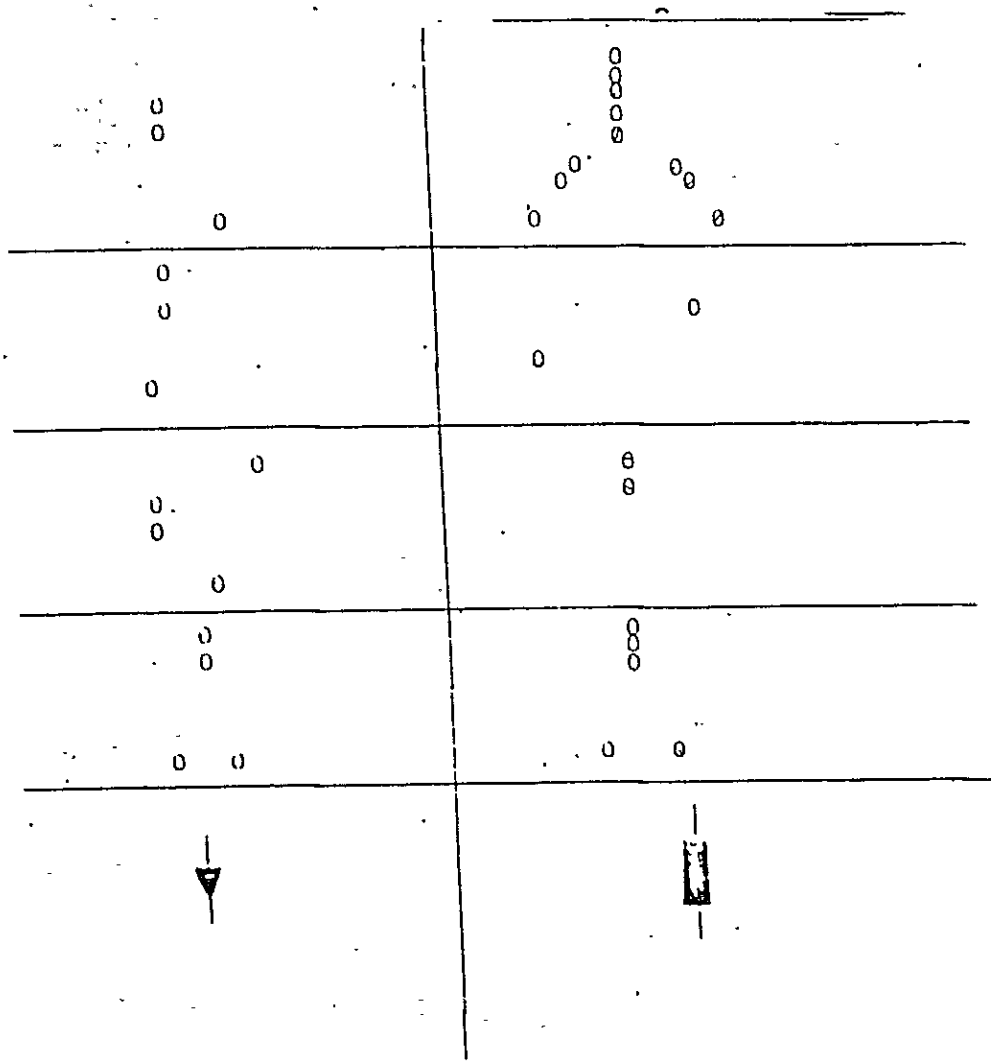
Indicar cómo deberá maniobrarse en los siguientes casos :



2) Indicar las señales acústicas correspondientes con visibilidad reducida para:
   a) Buque de propulsión mecánica detenido
   b) " fondeado (menos de 100 m. de eslora)
   c) " sin gobierno
   d) " pesquero

3) Cuales son las señales adicionales para buques de pesca que se encuentran pescando muy cerca unos de otros?
   a) Para pesca de arrastre
   b) Para pesca de arrastre en pareja
   c) Para pesca con artes de cerco con jareta

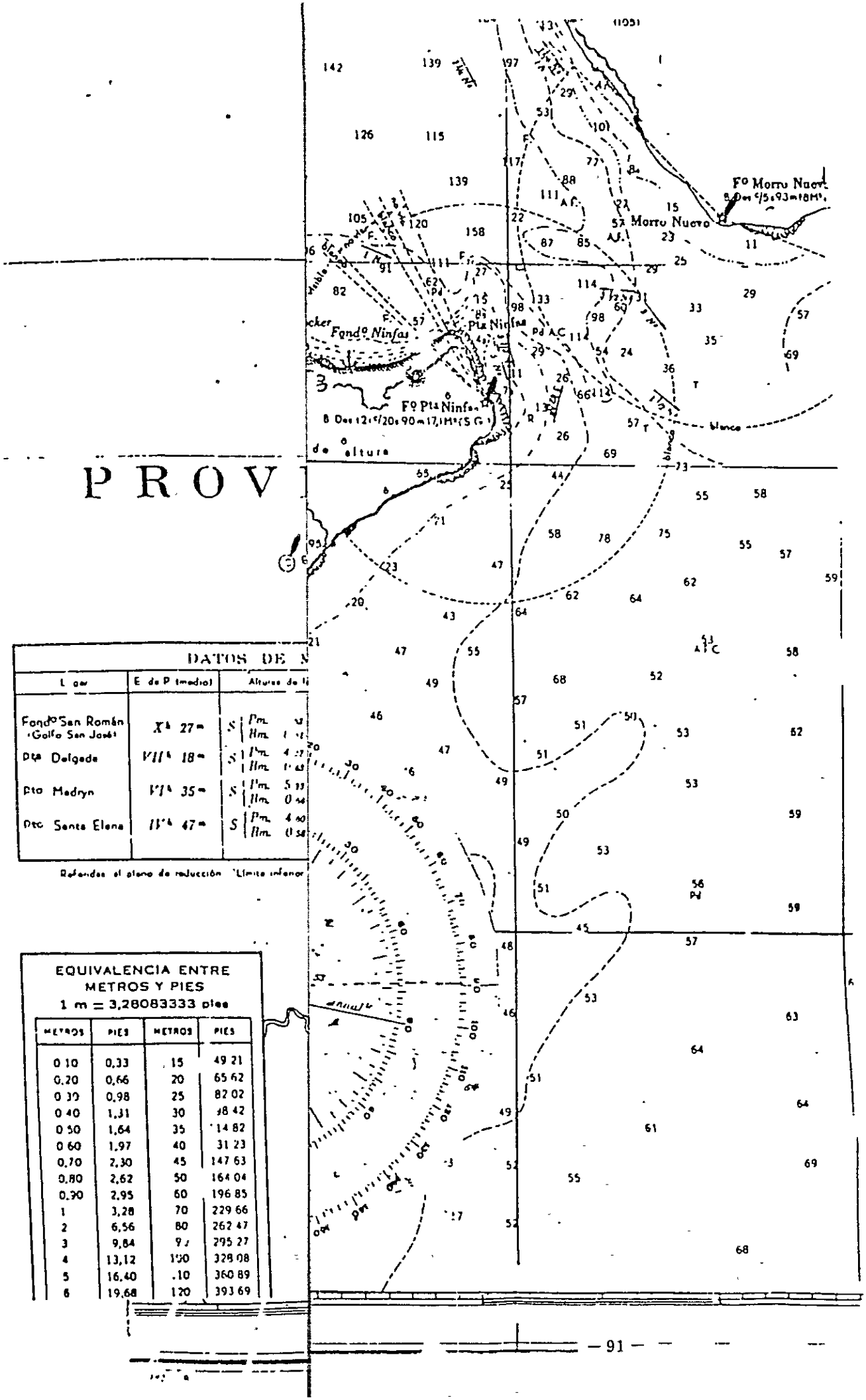
4) Indicar por lo menos 6 señales de peligro.



TABLILLA DE DESVIOS

R_c	δ	R_m
0°	− 0°5	359°5
10°	− 1°	9°
20°	− 1°5	18°5
30°	− 1°5	28°5
40°	− 2°	38°
50°	− 2°5	47°5
60°	− 3°	57°
70°	− 2°5	67°5
80°	− 2°	78°
90°	− 1°5	88°5
100°	− 1°	99°
110°	− 1°	109°
120°	− 1°	119°
130°	− 0°5	129°5
140°	− 0°5	139°5
150°	− 0°5	149°5
160°	− 0°5	159°5
170°	− 0°	170°
180°	0°	180°

R_c	δ	R_m
190°	+ 0°5	190°5
200°	+ 1°	201°
210°	+ 1°5	211°5
220°	+ 2°	222°
230°	+ 2°	232°
240°	+ 2°5	242°5
250°	+ 3°	253°
260°	+ 3°5	263°5
270°	+ 3°5	273°
280°	+ 3°5	283°
290°	+ 3°	293°
300°	+ 3°	303°
310°	+ 2°5	312°5
320°	+ 2°	322°
330°	+ 1°5	331°5
340°	+ 1°	341°
350°	0°	350°
0°	− 0°5	359°5


PROV
Fº Morro Nuevo
Morro Nuevo
Fondº Ninfas
Pta Ninfas
Fº Pta Ninfas
DATOS DE
EQUIVALENCIA ENTRE METROS Y PIES
1 m = 3,28083333 pies
— 91 —

PROVINCIA DEL CHUBUT

Estación F. Omega Golfo Nuevo
SRF 48 Des.

DATOS DE MAREA					
Lugar	E. de P. (medio)	Alturas de la marea (valores medios)			Ac. nivel medio
Fondo San Román (Golfo San José)	X h 27 m	S Pm 3,13 m / Bm 1,13 m	C Pm 6,40 m / Bm 1,[illegible] m		4,11 m
Pta Delgada	VII h 18 m	S Pm 4,27 m / Bm 0,43 m	C Pm 3,36 m / Bm 1,14 m		2,33 m
Pto Madryn	VII h 35 m	S Pm 5,33 m / Bm 0,44 m	C Pm 4,43 m / Bm 1,33 m		2,99 m
Pto Santa Elena	II h 47 m	S Pm 4,00 m / Bm 0,58 m	C Pm 3,34 m / Bm 1,34 m		2,59 m

Referidas al plano de reducción "Límite inferior de la media de las bajamares de sicigias".

EQUIVALENCIA ENTRE METROS Y PIES
1 m = 3,28083333 pies

METROS	PIES	METROS	PIES
0,10	0,33	15	49,21
0,20	0,66	20	65,62
0,30	0,98	25	82,02
0,40	1,31	30	98,42
0,50	1,64	35	114,82
0,60	1,97	40	131,23
0,70	2,30	45	147,63
0,80	2,62	50	164,04
0,90	2,95	60	196,85
1	3,28	70	229,66
2	6,56	80	262,47
3	9,84	90	295,27
4	13,12	100	328,08
5	16,40	110	360,89
6	19,68	120	393,69

Bal. Anterior
Bal. Posterior
Bal. Cerro Avanzado
Pta Ambrosetti
Pta Conscriptos
Fº Pta Conscriptos
Cº Puntiagudo
Bal. Cap. Rodríguez
Fondo Crocker
Fondo Ninfas
Pta Ninfas
Fº Pta Ninfas
Fº Morro Nuevo
Morro Nuevo
Mesata de 90 metros de altura
Pta León
Bajo de los Huesos
Barranca Norte
RAWSON
Río Chubut
Belgrano
Unión
Rodolico
BAHÍA EGASO
Bal. Ensenada
Bal. Postinga
Fº Chubut
Pta Castro
Decl 6°36' E (1980)
65°
— 91 —

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

CURSO : PATRON DE PESCA COSTERA

"ARTES DE PESCA"

ALUMNO: FECHA: 1º Semestre/83

1) Qué fibras vegetales empleadas en la fabricación de cabos conoce? Por qué se dejaron de emplear en general y en la pesca en particular?

2) Cuántas clases de fibras sintéticas ó químicas conoce?

3) Mencione las principales propiedades de las fibras sintéticas que deben tenerse en cuenta para su aplicación en la industria pesquera.

4) A qué se llama torsión de un hilo. Cuál es su expresión numérica?

5) Qué es coeficiente de torsión y para qué sirve?

6) Qué sistemas de numeración de hilos conoce? Describa el sistema Denier.

7) Qué significa: 23 Tex x 4 x 3 ; R 320 Tex Z
Cuál sería su expresión simplificada pero no recomendada por ISO.

8) Haga un gráfico simple y explique cómo trabajan los paños en una red de arrastre y en una red de cerco.

9) En gráfico adjunto indique:

A) a- punto ó nudo

b- lado ó barra

c- malla limpia

d- nudo limpio

B) a- cortes fundamentales de paños.

b- presentación final del paño en el corte.

10) En gráfico adjunto indique cómo repararía el daño que se advierte dejando en claro cuál es el pié para empezar y cuál para terminar.

EXAMEN LIBRE

E X A M E N L I B R E

CURSO: PATRON DE PESCA COSTERA

MATERIA: MANIOBRA

FECHA: 27 de junio de 1983

LUGAR: MAR DEL PLATA

---

1) Enuncie el Principio de Arquímedes.

2) Dibuje un corte transversal de un buque. Marque los puntos K-C-G y definalos. Explique el procedimiento para hallar el punto M y defínalo.

3) Dibuje una escala de colado en pies. Indique como se gradua y como se efectúa su lectura.

4) Defina a) Porte bruto
   b) Porte neto

5) Calcular la carga de trabajo de un cabo de manila nuevo y de primera calidad, de 18,2 centímetros de mena.

6) Cómo está confeccionado un cabo y un calabrote.

7) Qué significa engalgar anclas y cuál es su rendimiento.

8) a.- Por qué grilletes está integrado el "tramo inicial" de la cadena de un ancla.?
   b.- Como identifica los distintos tramos o grilletes de una cadena.

9) Si navegando hacia zona de pesca con visibilidad reducida se cae un hombre al agua: Como procede para su rescate?

10) Cuál será la longitud y velocidad durante un remolque? Qué precauciones tomaría usted como Patrón de la embarcación remolcada?

E X A M E N L I B R E

CURSO: PATRON DE PESCA COSTERA
MATERIA: NAVEGACION
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

TABLA DE MAREAS/83

---

1) Enumerar todos los tipos de corredera que conozca, y detallar la corredera "Holandesa" o de "Fortuna"
2) Describa el principio de funcionamiento de una ecosonda.
3) ¿Qué ventaja tienen los compases "líquidos" sobre los "secos"? ¿Por qué se llaman así los primeros? ¿Qué precauciones deben tenerse con los mismos?
4) Detallar brevemente cómo se confecciona una tablilla de desvíos.
5) ¿Cuándo adquieren los hierros del buque un magnetismo permanente? ¿Qué provocan los mismos sobre la aguja del compás?
6) ¿Qué representan los coeficientes A - B - C - D y E?
7) En una compensación de afine ¿qué desvíos se compensan con las esferas Thompson?
8) ¿Qué entiende por "mareas de SICIGIA" y "mareas de CUADRATURA"?
9) A fin de fondear en Bahía Laura, se desea saber desde qué hora y hasta qué hora, (después de 1200 hs., del día 27 de abril de 1980), se podrá llegar a dicho fondeadero con un buque cuyos calados son: P_R=4,50m y P_p=5,20m. El sondaje indicado en la carta es de 3,40 m. y el margen que desea tener el Capitán es de 2,0m.
10) Un buque zarpa a Hb=0800 (+3) del fondeadero de Bahía Engaño (φ_e=43°20'S y ω_e=65°01'5W) con destino a zona de pesca.
    a) A dicha hora se hace Rv=060°
    b) Calcular el Rc que corresponde a dicho Rv Rc =
    c) A Hb=0830 se marca Fo. Chubut con una demora α=166° y distancia radar: D_R=6'7 al mismo faro.
    d) Calcular velocidad del buque para dicho instante Vb =
    e) A Hb=0900 se marcan:

       Fo. Chubut Mc = 228°5
       Caída Barranca Norte Mc = 268°5

    f) A Hb = 0930 se marca:

       Caída Barranca Norte Mc = 256°

       y se sitúa la posición con marcación sucesiva al mismo punto.
    g) En dicha posición se calcula la nueva velocidad Vb
    h) Desde esta última posición se continúa por estima hasta una distancia D=17'5, navegando al Rv=060°
    i) Obtener las coordenadas del último punto obtenido y la hora de llegada al mismo:

       φ_e =
       ω_e =
       Hb =

TABLILLA DE DESVIOS

R_c	δ	R_m	R_c	δ	R_m
0°	− 0°5	359°5	190°	+ 0°5	190°5
10°	− 1°	9°	200°	+ 1°	201°
20°	− 1°5	18°5	210°	+ 1°5	211°5
30°	− 1°5	28°5	220°	+ 2°	222°
40°	− 2°	38°	230°	+ 2°	232°
50°	− 2°5	47°5	240°	+ 2°5	242°5
60°	− 3°	57°	250°	+ 3°	253°
70°	− 2°5	67°5	260°	+ 3°5	263°5
80°	− 2°	78°	270°	+ 3°5	273°
90°	− 1°5	88°5			
100°	− 1°	99°	280°	+ 3°5	283°
110°	− 1°	109°	290°	+ 3°	293°
120°	− 1°	119°	300°	+ 3°	303°
130°	− 0°5	129°5	310°	+ 2°5	312°5
140°	− 0°5	139°5	320°	+ 2°	322°
150°	− 0°5	149°5	330°	+ 1°5	331°5
160°	− 0°5	159°5	340°	+ 1°	341°
170°	− 0°	170°	350°	0°	350°
180°	0°	180°	0°	− 0°5	359°5

PATRON DE PESCA 2da

EXAMEN DE INGRESO

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983.

CURSO: PATRON DE PESCA DE 2°

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983

NO SE PERMITIRA PEDIR A COMPAÑEROS NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.
Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.
Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.
Conteste en el mismo orden en que están las preguntas.
EN ESTA HOJA NO SE CONTESTAN LOS TEMAS.

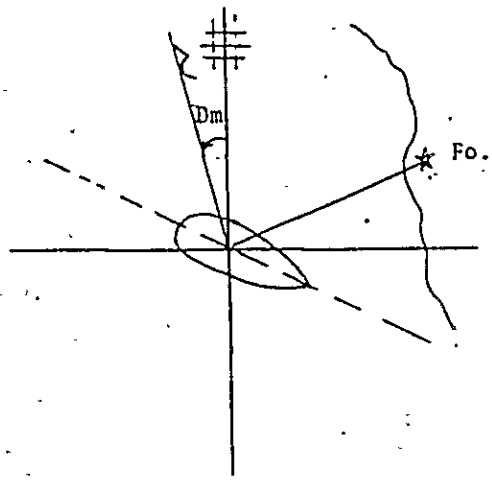
NAVEGACION:

1) Dibujar y detallar un compás magnético líquido.

2) ¿Cuántos tipos de sondas de mano conoce?
¿Cómo se gradúan las mismas?

3) ¿Para qué sirven las correderas?
Detalle alguna de las que conoce.

4) Completar el siguiente gráfico en base a los siguientes datos



Dm = 4°W
δ = +7°
Rv = 120°
Rm = ? Mv = ?
Rc = ? Mc = ?
Vt = ? α = ?

5) Calcular:

a) R_c=282°
$Dm_{(1978)}$= 6°3W
δ = +4°
Mc=359°
Rv=x Mv=x

b) Rv=001°
$Dm_{(1983)}$=4°7E
Mc= 185°
δ = -6°
Rc=x Mv=x

6) Calcular la altura de marea que habrá en Puerto Melo, el día 17 de agosto de 1980 a 1200 hs.

7) ¿Qué métodos conoce para situar un barco a vista de costa?

8) Verificar el rumbo en base a los siguientes datos:

Av_o=308° Ac_o=3 $Dm_{(1983)}$=4°7W
Rv =032° Calcular Rc=

— 103 —

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983

CURSO:

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983.

- - - - - -

NO SE PERMITIRA PEDIR A COMPAÑEROS NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.
Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.
Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.
Conteste en el mismo orden en que están las preguntas.
EN ESTA HOJA NO SE CONTESTAN LOS TEMAS.

- - - - - -

ARITMETICA - ALGEBRA - GEOMETRIA

1) Calcular usando decimales:

$$\frac{(1 - 0,5)^2 : 0,25 + 0,75}{0,5\ (1 - 0,25)} \cdot 0,3 =$$

2) Calcular usando fraccionarios:

$$\frac{-\frac{1}{2} + \sqrt[3]{\frac{11}{8} + 2} - \frac{3}{4}}{\frac{\frac{4}{5} + 3}{2^{-1}} - 5} =$$

3) Suprimir paréntesis, corchetes y llaves y calcular el resultado en:

$$-1 - \left\{-3 + [4 + 5 - (3 - 5) + 1] + 2\right\} =$$

4) Un patio rectangular tiene 15m de largo y 3,8 dam de perímetro. Se desea recubrirlo con una capa de arena de 50mm de espesor.
¿Cuánto se gastará si el quintal de arena cuesta 1790$ y si el m^3 de arena pesa 1,8T?

5) Calcular la superficie en piés cuadrados de un triángulo rectángulo cuyos catetos miden: cateto mayor: 2 yardas + 6,2 pulgadas + 10 pulgadas y cateto menor: 15,2 líneas + 2 piés.

6) Calcular en metros: 2,5 millas marinas + 12,1 cables - 5 brazas.

7) Si 24 obreros pueden finalizar un trabajo en 46 días trabajando 7 horas diarias ¿cuántos días emplearán si se aumenta en 18 el número de obreros y trabajan 1 hora diaria más?

8) Calcular los $\frac{3}{5}$ de (90° - 24°36'49") =

9) En el $\overset{\triangle}{ABC}$; $\hat{A}$ = 69°14'46"
$\hat{C}$ = 79°46'16"

Averiguar a) el valor de $\hat{B}$ =
b) cómo es el triángulo por sus lados y por sus ángulos y por qué.
c) cuál es el menor lado y por qué.

10) Calcular la longitud en cm de una circunferencia de 2,95 m de radio.

EXAMEN REGULAR

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

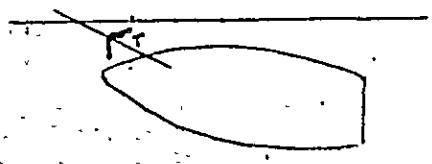
CURSO: PATRON DE PESCA DE 2°

"M A N I O B R A"

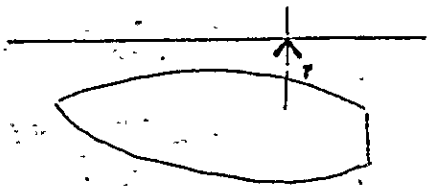
ALUMNO: FECHA: 1° Trimestre/8

1) Qué es el timón y explique su acción en un buque con arrancada atrás.
2) Enuncie los efectos evolutivos del timón. Cuáles son sus consecuencias.
3) Sobre la hélice defina :
   a) diámetro
   b) área disco
4) a) Qué es la curva de evolución de un buque
   b) Defina los elementos de una curva evolutiva
5) Por medio de qué formula calcula la distancia para detener un buque en movimiento
6) Si realiza el ciaboga con buque detenido: hacia qué banda coloco el timón en:
   a) un solo timón
   b) timones gemelos.
7) Explique y grafique el fondeo a barbas de gato
8) Cuál será la velocidad en caso de niebla y cómo la determina.
9) Grafique y explique los efectos por la acción de un largo de proa y de un travesin de popa pasado a muelle (Figura A).
10) Grafique las fuerzas que actuan en la caída de un buque e indique a qué banda cae la popa en cada caso (Figura B).

FIGURA A

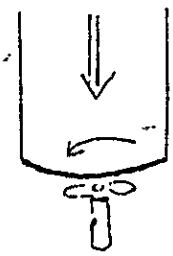


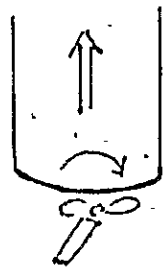
1)
2)
3)



1)
2)
3)

FIGURA B





ESCUELA NACIONAL DE PESCA

CURSO: PATRON DE PESCA DE 2°

"NAVEGACION"

ALMANAQUE NAUTICO / 1980

ALUMNO: FECHA: 12 Setiembre 1983

1) Dar el nombre de un par de estrellas que para Mar del Plata (φ = 38° S) resulten en cada caso:
   a) Circumpolares
   b) No visibles.

2) Si salgo en avión de Paris (CHH = - 1) y luego de 5 horas de vuelo arribo a Nueva York (CHH = + 5), . Aqué hora de Nueva York deberé llegar?

3) Hallar el AHL γ para el "Momento propicio" matutino para un observador situado en Mar del Plata el día 28 de junio de 1980.

4) Un navegante se halla φ_e = 58°50' S ; ω_e = 62° 40' W a la Hb = 0640 del 27 de diciembre de 1980; mientras observa Ac $\odot$ = 120°5 - De la carta del lugar se obtiene que la Dm = 12° W.
   a) Verificar el rumbo determinando el R_c a que se debe gobernar para navegar al R_v = 315°
   b) Determinar el Desvío del compás (δ) y el Rm que corresponde.

5) Determinar la "LATITUD MERIDIANA" en base a los siguientes datos:
   Fecha 22 de setiembre de 1980 CHH = + 3

   φ_e = 37° 30'. S hi = 52°10'.0 ε_i = - 1'.1
   ω_e = 57°15'. W h ojo = 12,20 m.

   Determinar previamente la H_m of + 3 de la meridiana.

6) Confeccionar un programa de observaciones para el día 12 de noviembre de 1980, para ser usado en el crepúsculo vespertino - El mismo se efectuará con Tablas de Cálculo Rápido H.O. 249- Seleccionar las tres estrellas que servirán posteriormente para calcular una "posición astronómica".

7) Calcular la Posición Astronómica de un buque en base a los siguientes datos:
   Fecha : 12 de setiembre de 1980

   Hb = 0907 (+ 3) φ_e = 29°26' S hojo = 12 m
   Ca = 10 m 05s (a.s.) ω_e = 21°30' W Rv = 225° ε_i = 3!8(a.s.

*	Tc	hi	Av(aprox.)
REGULUS	09h00m10s	31°05!2	050°
ACRUX	09h03m20s	30°49!8	150°
RIGEL	09h07m02s	54°27!2	300°

8) Situar el último astro del ejercicio anterior en una proyección horizontal y obtener los valores aproximados de las siguientes coordenadas :
   a) AHL - b) AH - c) α - d) Δ

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

CURSO : PATRON DE PESCA DE 2°

"ARTES DE PESCA"

ALUMNO: FECHA: 1º Semestre/83

1) Diga usted a qué tipo de redes corresponden los planos que se indican en gráfico adjunto. Indique también los distintos paños y/o elementos partes que la componen'

2) Diga por qué se utilizan portones en una red de arrastre. Mencione además los distintos tipos que conozca y si cabe, en qué pesca se utilizan preferentemente.

3) Qué entiende usted por ángulo de ataque de un portón. Explique cómo lo determina en un portón rectangular plano.

4) Cuál es la razón por la cual el anclaje de los pié de gallo tiene tres diferentes posiciones.

5) Explique cómo determina practicamente la distancia entre portones en un arrastrero popero. Exponga un ejemplo.

6) Es frecuente que los portones trabajen en forma defectuosa. Cuáles son esos defectos, a qué razón obedecen y cómo se corrigen?

7) Usted está al arrastre pelágico y estima su relinga superior trabaja a 15 metros. Detecta un cardúmen cuyo borde superior está a 35 metros. Qué maniobra efectúa?

8) Haga un esquema de los portones recomendados para el trabajo con redes pelágicas. Cómo se llaman? En qué porcentaje participan de la resistencia total del equipo al avance?

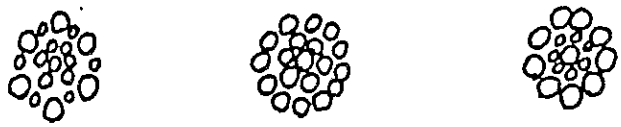
9) En cables de acero,

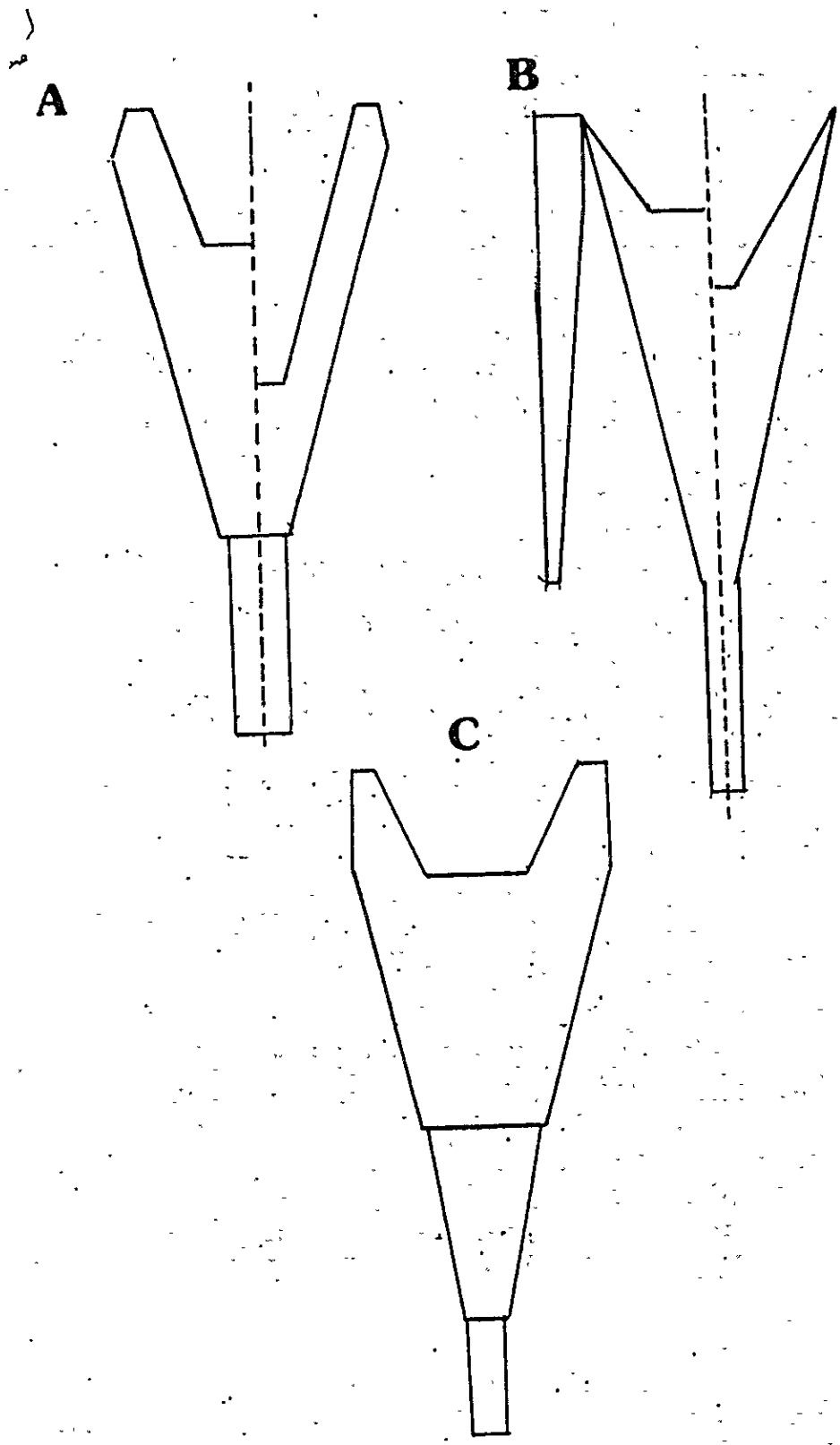
a- qué se entiende por coeficiente de seguridad, exponga ejemplos

b- cómo se denominan las torsiones, grafíquelo.

c- qué es acordonamiento cruzado, dónde se emplea.

10) Hemos cortado tres cables distintos y observamos que los cordones presentan una sección como la que se muestra. Diga a qué tipo de construcción pertenecen y cuál se usa en los cables de arrastre de pesca.




A
B
C

EXAMEN LIBRE

E X A M E N L I B R E

CURSO: PATRON DE BESCA DE 2°

MATERIA: MANIOBRA

FECHA: 27 de junio de 1983

LUGAR: MAR DEL PLATA

---

1) Sobre los factores que intervienen en la maniobra de un buque: Cuáles son los que usted tiene parcialmente bajo control. Explique detalladamente.

2) A qué anclas la denomina " de leva"; y qué entiende por ángulo de presa?

3) Explique la acción del timón en marcha atrás.

4) a) Mencione y explique los efectos evolutivos del timón.
   b) De qué factores dependen sus efectos?

5) Sobre la hélice defina: a) Paso de hélice (de su valor)
   b) Retroceso

6) Mencione y explique las " resistencias" adicionales a que está sometido un buque.

7) Sobre la evolución de un buque difina:
   a) Centro de rotación
   b) Centro instantaneo de rotación
   c) Punto Pivote
   d) Evoluta

8) Qué entiende por " Cía- boga".

9) Mencione el tipo de fondeo que realizaría, si quisiera repartir el esfuerzo del fondeo- grafique-.

10) Grafique y explique cuales son los efectos de un spring de proa pasado del buque a muelle.

E X A M E N L I B R E

CURSO: PATRON DE PESCA DE 2°
MATERIA: NAVEGACION
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

ALMANAQUE NAUTICO/1980

---

1) Dar el nombre de un par de estrellas que para Mar del Plata (φ=38°S) resulten en cada caso:
   a) Circumpolares
   b) No visibles
2) Si salgo en avión de París (CHH = -1) y luego de 5 horas de vuelo arribo a Nueva York (CHH = +5), ¿a qué hora de Nueva York deberé llegar?
3) Hallar el AHL_{γ} para el "momento propicio" matutino para un observador situado en Mar del Plata el día 28 de junio de 1980.
4) Un navegante se halla en φ_e= 58°50'S; ω_e= 62°40'W a la Hb=0640 del 27 de diciembre de 1980, mientras observa $Ac_{\odot}$ = 120°,5. De la carta del lugar se obtiene que la Dm=12°W.
   a) Verificar el rumbo determinando el Rc. a que se debe gobernar para navegar al Rv=315°.
   b) Determinar el Desvío del compás (δ) y el Rm que corresponde.
5) Determinar la "LATITUD MERIDIANA" en base a los siguientes datos:
   Fecha: 22 de setiembre de 1980 - CHH= +3
   φ_e= 37°30',S hi= 52°10',0 ε_i= -1',1
   ω_e= 57°15',W h_{ojo}= 12,20m
   Determinar previamente la Hm^{of+3} de la meridiana
6) Calcular la "Posición Astronómica" para el instante de la tercera observación sobre la base de los siguientes datos:

   Fecha: 2-Enero-1980 CHH = (+3)
   φ_e = 54°50',S Ca = 30^m03^s h_{ojo}= 10m V.buque=7',5 Ns.
   ω_e= 64°30',W ε_i= +1',2 Rv= 075

*	T	hi
ACRUX	$00^h07^m06^s$	32°15',0
SHAULA	$00^h10^m05^s$	7°10',0
ADHARA	$00^h13^m03^s$	42°40',6

TABLILLA DE DESVIOS

R_c	δ	R_m	R_c	δ	R_m
0°	− 0°5	359°5	190°	+ 0°5	190°5
10°	− 1°	9°	200°	+ 1°	201°
20°	− 1°5	18°5	210°	+ 1°5	211°5
30°	− 1°5	28°5	220°	+ 2°	222°
40°	− 2°	38°	230°	+ 2°	232°
50°	− 2°5	47°5	240°	+ 2°5	242°5
60°	− 3°	57°	250°	+ 3°	253°
70°	− 2°5	67°5	260°	+ 3°5	263°5
80°	− 2°	78°	270°	+ 3°5	273°
90°	− 1°5	88°5			
100°	− 1°	99°	280°	+ 3°5	283°
110°	− 1°	109°	290°	+ 3°	293°
120°	− 1°	119°	300°	+ 3°	303°
130°	− 0°5	129°5	310°	+ 2°5	312°5
140°	− 0°5	139°5	320°	+ 2°	322°
150°	− 0°5	149°5	330°	+ 1°5	331°5
160°	− 0°5	159°5	340°	+ 1°	341°
170°	− 0°	170°	350°	0°	350°
180°	0°	180°	0°	− 0°5	359°5

PATRON DE PESCA 1ra

EXAMEN DE INGRESO

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983

CURSO: PATRON DE PESCA DE 1°

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983

- - - - - -

NO SE PERMITIRA PEDIR A COMPAÑEROS NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.
Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.
Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.
Conteste en el mismo orden en que están las preguntas.
EN ESTA HOJA NO SE CONTESTAN LOS TEMAS.

- - - - - -

NAVEGACION:

1) En una proyección meridiana, situar un astro cualquiera; definir y graficar las siguientes coordenadas celestes:

a) Av c) δ_* e) AHL

b) A_z d) A.S. f) h_*

2) ¿Qué relación fundamental existe entre la HORA SIDEREA (Hs), la ASCENCION RECTA (α) y el ANGULO HORARIO (AHL) de un astro?

3) ¿Qué es la CORRECCION ABSOLUTA (Ca) de un cronómetro y cómo la determina?

4) ¿Cuál es la Variación Diaria (Vd) de un cronómetro al que se le han determinado las siguientes correcciones absolutas (Ca)?

Día 30-Julio Ca= $01^h18^m14^s,5$

" 8-Agosto Ca= $01^h17^m52^s,0$

5) ¿Dónde figuran registradas y cómo son las señales horarias emitidas por distintos países?

6) ¿Qué es el "error de índice" de un sextante, cómo se lo determina y cómo se aplica a las alturas instrumentales?

7) ¿A qué se denomina "Corrección Total de Alturas"?
¿Cómo se aplica en el caso de estrellas y de Sol?

8) A fin de preparar un "Programa de observaciones con el Identificador "NACAR", se desea calcular el AHL$_\gamma$ para el instante propicio matutino, para un observador situado en Mar del Plata, φ_e=38°02'S y ω_e=57°32'W, el día 28 de junio de 1980. CHH=(+3).

9) Determinar la "Latitud Meridiana" en base a los siguientes datos:

Fecha: 22 de Setiembre de 1980

φ_e= 37°30'S hi= 52°10',0 ε_i= 1',1 (a.r.)

ω_e= 57°15'W h_{ojo}= 12m

Determinar previamente la Hm^{of+3} de la meridiana.

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

EXAMEN DE INGRESO - 2° TERMINO LECTIVO - AÑO 1983

CURSO:

ALUMNO: FECHA: 3 de agosto de 1983.

NO SE PERMITIRA PEDIR A COMPAÑEROS NINGUN ELEMENTO COMO LAPIZ, GOMA, ETC.
Antes de empezar a desarrollar los temas, marque con regla el margen en el borde izquierdo del anverso de la hoja y el margen en el borde derecho del reverso de la hoja.
Con regla trace una línea, de un margen a otro de la hoja, separando cada tema.
Conteste en el mismo orden en que están las preguntas.
EN ESTA HOJA NO SE CONTESTAN LOS TEMAS.

ARITMETICA - ALGEBRA - GEOMETRIA

1) Calcular usando decimales:

$$\frac{(1 - 0,5)^2 : 0,25 + 0,75}{0,5\ (1 - 0,25)} \cdot 0,3 =$$

2) Calcular usando fraccionarios:

$$\frac{-\frac{1}{2} + \sqrt[3]{\frac{11}{8} + 2} - \frac{3}{4}}{\frac{\frac{4}{5} + 3}{2^{-1}} - 5} =$$

3) Suprimir paréntesis, corchetes y llaves y calcular el resultado en:

$$-1 - \{-3 + [4 + 5 - (3 - 5) + 1] + 2\} =$$

4) Un patio rectangular tiene 15m de largo y 3,8 dam de perímetro. Se desea recubrirlo con una capa de arena de 50mm de espesor.
¿Cuánto se gastará si el quintal de arena cuesta 1790$ y si el m^3 de arena pesa 1,8T?

5) Calcular la superficie en piés cuadrados de un triángulo rectángulo cuyos catetos miden: cateto mayor: 2 yardas + 6,2 pulgadas + 10 pulgadas y cateto menor: 15,2 líneas + 2 piés.

6) Calcular en metros: 2,5 millas marinas + 12,1 cables - 5 brazas.

7) Si 24 obreros pueden finalizar un trabajo en 46 días trabajando 7 horas diarias ¿cuántos días emplearán si se aumenta en 18 el número de obreros y trabajan 1 hora diaria más?

8) Calcular los $\frac{3}{5}$ de (90° - 24°36'49") =

9) En el $\overset{\triangle}{ABC}$; $\hat{A} = 69°14'46"$
$\hat{C} = 79°46'16"$

Averiguar a) el valor de $\hat{B}$ =
b) cómo es el triángulo por sus lados y por sus ángulos y por qué.
c) cuál es el menor lado y por qué.

10) Calcular la longitud en cm de una circunferencia de 2,95 m de radio.

EXAMEN REGULAR

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : PATRON DE PESCA DE 1°

"N A V E G A C I O N"

ALMANAQUE NAUTICO 80

ALUMNO: FECHA:

1) Calcular la distancia, (en millas), a que se encuentra un buque de un faro, en el momento que se ve el tope del mismo en la línea del horizonte, sobre la base de los siguientes datos:

Altura del ojo del observador = 9.0 m

Altura del Faro (según indicado en la costa) = 64 m.

2) Un buque navega a vista de costa y a Hb=1030, Cp=365¦0 observa una demora α=38°5 a un faro. Continúa navegando y cuando la demora al mismo faro se duplica, siendo α=77°, la Cp acusa 388¦5. ¿A qué distancia se halla del mencionado faro?

3) ¿Qué fenómenos se advierten al navegar un buque en un canal de dimensiones reducidas y de escasa profundidad? ¿Cómo puede disminuirse dicho efecto?

4) ¿Qué influencia tiene la profundidad y la suciedad del casco en la velocidad del buque?

5) ¿A qué se denominan: "Recta de Dirección" y "Recta de Velocidad"? ¿Qué orientación deberá tener el astro elegido en cada caso?

6) Mientras se navega al Rv=290°, un buque se halla en φ_e=50°09¦0S y ω_e=60°29¦0W, donde en dicha posición la Dm=9°5E. El día 18 de setiembre de 1980, cerca de medianoche se efectuó la siguiente observación:

$T_c = 01^h03^m04^s5$ $C_a = 00^h20^m25^s5$ (a.s.)

$Ac_* = 169°5$ Astro: MIAPLACIDUS

Determinar:

a) Av para el citado instante
b) Verificar el rumbo, determinando δ del compás
c) Hallar el nuevo Rc a ordenar al timonel.

7) Calcular la "Latitud Meridiana", sobre la base de los siguientes datos:

Fecha: 23-3-80 CHH = (+3)

φ_e= 50°11' S h_{ojo}= 6m. hi = 38°27¦5

ω_e= 54°58' W δ_i= 1¦1 (a.s.)

Determinar previamente Hm^{of+3} de la meridiana.

8) Calcular la "Posición Astronómica" para el instante de la tercera observación sobre la base de los siguientes datos:

Fecha: 21-7-80

φ_e= 50°17' N Ca= 2^m10^s (a.s.) h_{ojo}= 12m Rv= 160°

ω_e= 40°20' W δ_i= 2¦1 (a.r.) Vb= 9¦5

	Tc	hi
VEGA	$18^h30^m15^s$	22°08¦2
SPICA	$18^h33^m30^s$	25°50¦1
POLLUX	$18^h37^m10^s$	38°32¦5

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : PATRON DE PESCA DE 1ª

"ARTES DE PESCA"

ALUMNO: FECHA: 1º Semestre/84

1) Usted desea construir una red de arrastre que teóricamente tenga una abertura vertical de 5 mts. El mallero que utiliza en alas y pieza cuadrada es de 190 mm. Diga cuántas mallas le corresponden a las puntas de alas inferiores y superiores.

2) Atento al destino a dar a una red de arrastre se calcula la distancia entre puntas de alas con que debe trabajar. Diga qué clasificación se hace normalmente y en base a qué se calcula esa distancia de punta de alas.

3) En un arrastrero por popa se desea calcular la distancia entre portones con los siguientes datos medidos a bordo:

   a) distancia entre pastecas : 6 mts.

   b) marca sobre cable a pasteca : 6 mts.

   c) marca sobre cable a punto de observación en crujía: 7 mts.

   d) ángulo medido: 60°

   e) se hizo firme con 400 mts. de cable

4) Indique sintéticamente el método práctico para determinar la abertura vertical de la boca de la red.

5) Para una determinada profundidad indique la incidencia que tiene la longitud del cable de remolque sobre la abertura horizontal de la boca de la red.

6) Diga usted qué entiende por termoclina y por inversión. Cuál es el efecto que produce una inversión en la propagación del sonar?

7) Si en su buque van a instalar una ecosonda de red, qué sistema de enlace transmisor-buque aconsejaría usted que tuviese el equipo a adquirir. Explique las razones de tal decisión.

8) Qué portones usaría usted en la pesca de arrastre pelágico. Descríbalo.

9) Indique cuáles son las propiedades de las fibras sintéticas a tener en cuenta para su uso en la actividad pesquera.

10) En el corte de paños existen varias fórmulas que se aconsejan emplear para el mejor y rápido aprovechamiento del mismo. Diga en qué casos se emplea la que se indica al pié y qué tipo de corte resulta.

$$R_c = \frac{2\,d - (A - a)}{2\,A\,(A - a)}$$

siendo: A : 150 mallas

a : 100 mallas

d : 50 mallas

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : PATRON DE PESCA DE 1ª

"TECNOLOGIA PESQUERA"

ALUMNO: FECHA: 1º Semestre/8.1

1) Nombre y dibuje los distintos tipos de aletas caudales.

2) Dentro de qué temperaturas se desarrollan las bacterias termófilos, mesófilas y sicrófilas.

3) Qué alteraciones químicas producen las bacterias acromobacter y pseudomonas.

4) Cómo opera una congeladora de placa de contacto?

5) Qué masas de agua predominan sobre la plataforma y cuáles son sus características?

6) Defina qué son los recursos del mar.

7) Ventajas y desventajas que proporciona un producto eviscerado y descabezado, conservado en hielo.

8) Importancia de la naturaleza de la sal utilizada.

9) Naturaleza y propiedades del hielo.

10) Indique y dibuje el sistema de hielo en escamas denominado "de tambor giratorio".

EXAMEN LIBRE

E X A M E N L I B R E

CURSO : PATRON DE PESCA DE 1°
MATERIA: NAVEGACION
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

ALMANAQUE NAUTICO 1980

1) Calcular la distancia (en millas) a que se encuentra un buque de un faro en el momento en que se ve el tope de dicho faro en la línea del horizonte en base a los siguientes datos:

Altura del ojo observador =14,0m
" " faro (según indica la carta) = 59

2) Cuándo una enfilación es más "sensible" que otra? Por qué?

3) Qué errores pueden afectar a las marcaciones sucesivas a un mismo punto?

4) Un buque navega por un canal balizado y debido a la corriente transversal que hay en ese instante, lo hace con una deriva de 2° a babor.
Si la manga del mismo es de 15 m ¿Cuál será la "manga aparente" que tiene en ese instante?

5) Cómo influyen las condiciones meteorológicas en el canal del Río de la Plata? Cómo puede obtenerse la altura real del agua mientras se navega por dicho canal?

6) Hallándose el buque, el día 3 de enero de 1980, en φ_e=54°50'S y ω_e=64°30'W se mide a la estrella SHAULA un A_c=210°, siendo T_a= $00^h10^m05^s$ y C_a=20^m03^s y la Dm=2°,5E.- Con dichos datos determinar:

a) El valor de la Vt
b) El Rv del buque si el R_c=005°
c) El desvío del compás

7) Determinar la "Posición Astronómica" correspondiente al instante de la tercera observación, en base a los siguientes datos:

Fecha: 2-1-80

φ_e = 54°50'S	C_a= 30^m03^s	h_{ojo}=10m	Rv=075°
ω_e = 64°30'W	ε_i = 1',2(a.s.)	Vb=7',5 Ns	

	Tc	hi
ACRUX	$00^h07^m06^s$	32°15',0
SHAULA	$00^h10^m05^s$	7°33',0
ADHARA	$00^h13^m03^s$	42°15',6

8) Cuál será el criterio a seguir, según el corte de las "bisectrices de altura" en la determinación de una posición astronómica?

E X A M E N L I B R E

CURSO: PATRON DE PESCA DE PRIMERA
MATERIA: TECNOLOGIA PESQUERA
FECHA : 27 de junio ded 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

---

1) En qué instancias puede el pez consumir buena parte de sus reservas energéticas?
2) Enuncie las causas que aceleran la descomposición. Nombre por los menos cinco?
3) Qué importancia tienen en el pescado la elastina y el colágeno?
4) Independientemente del ataque bacteriano y enzimático, ocurren otros cambios químicos. Cuáles son y por qué se producen?
5) Cuál es la etapa más importante en la formación del hielo?
6) Qué procedimientos y cuidados requiere un congelador de placa de contacto, previo a comenzar la tarea de congelado?
7) Que ocurre organolépticamente con un pescado congelado lentamente, despúes de ser descongelado?
8) Detalle las características organolépticas del peritoneo de la merluza en condiciones: optima, buena, regular y mala.
9) Fundamente las razones por la cuál es obligatorio la reducción a bordo.
10) Quál es la finalidad de la salazon húmeda y qué importancia tiene tecnologicamente la naturaleza de la sal utilizada?

CAPITAN DE PESCA

EXAMEN LIBRE

E X A M E N L I B R E

CURSO: CAPITAN DE PESCA
MATERIA: MANIOBRA
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

---

1) ¿Cuáles son los efectos secundarios, que actúan sobre el timón, en un buque en movimiento, marcha avante?
2) ¿Qué efectos evolutivos provocan las hélices dextrógiras en marcha avante, con timón a la vía y a ambas bandas?
3) ¿Cuál es el efecto evolutivo de un buque de 12m. de manga, navegando con una escora de 4°? ¿Cuál es el efecto del abatimiento?
4) Ventajas y desventajas de las amarras pasadas por seno.
5) ¿Qué longitud de cadena se puede fondear en los siguientes casos?
   Buen tiempo - Estadía corta .....
   " " - " larga .....
   Inestable .....
   Mal tiempo .....
   Temporal .....
   Además ¿qué otros factores externos, pueden hacer variar dichas longitudes?
6) Describa cómo debe efectuarse una maniobra a fin de abarloarse a otra embarcación.
7) Describa el sistema de hélice timón SCHOTTEL.
8) ¿Qué efectos provocan sobre la carena los golpes de mar y los bajo-fondos?
9) Características evolutivas:
   Describa:
   a) Distancia necesaria para parar un buque en movimiento.
   b) Curva de distancias en función de la velocidad.
10) Remolque abarloado: ¿Cómo debe afirmarse el remolque?

E X A M E N L I B R E

CURSO: CAPITAN DE PESCA
MATERIA: NAVEGACION
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

TABLA MAREAS/80

---

1) Cuáles son los errores que afectan al Punto Compás Corredera (P.c.c.) y al Punto Estimado (P.e.)?
2) A qué se llaman:
   a) Mareas de Sicigia
   b) " " Cuadratura.
   c) " " Perigeo
   d) " " Tropicales
3) El día 27 de abril de 1980, se desea fondear en Bahía Laura (después de 1200 hs.). Se desea saber desde qué hora y hasta qué hora podrá hacerlo, un buque cuyos calados son: P_R=4,50m y Pp=5,20m. El sondaje indicado en la carta es de 3,40 m. y el margen de seguridad que desea tener el Capitán es de 2,0m.
4) ¿A qué rumbos magnéticos)Rm.) se hacen mayores los valores de los coeficientes A, C y E de un compás magnético?
5) Detallar brevemente cómo se efectúa una "compensación de afine" con sus operaciones previas y psoteriores.
6) ¿Cómo se identifican los senderos y cómo se eligen las estaciones a utilizar en el sistema OMEGA? ¿Cuántas estaciones forman el sistema mundial y cuáles son?
7) Enumerar las perturbaciones que afectan una observación RADAR.
8) ¿Cuál es la amplitud horizontal y la amplitud vertical de un RADAR del tipo Comercial? ¿Cuáles son sus alcances mínimo y máximo? ¿Cómo se determinan?
9) ¿Cómo funcionan las balizas RAMARK y RACON? ¿Qué finalidad tienen para la navegación?
10) ¿Qué entiende por "velocidad de seguridad" para navegar con tiempo de niebla o visibilidad reducida? ¿Qué maniobras puede efectuar cuando avista otro buque por proa en la pantalla RADAR?

E X A M E N L I B R E

CURSO: CAPITAN DE PESCA

MATERIA: ARTES DE PESCA

FECHA: 27 de junio de 1983

LUGAR: MAR DEL PLATA

---

1) Calcule que longitud de patente debe utilizar para obtener una distancia entre portones de 60 mts. para una red de arrastre demersal don se conoce:
   longitud relinga superior: 30 mts.
   longitud de bridas: 15 mts.
   longitud de relinga (unión de paños) : 40 mts. (15 mts)

2) Calcular que potencia del motor principal de un arrastrero se utiliza para remolcar el equipo conociendo:
   NHP: 550
   Hélice de paso fijo
   RPM: 380
   Estado del mar : 5/6 BF
   Ud. determina el coeficiente de utilización. (10m)

3) Haga un esquema de la fuerzas actuantes sobre la relinga superior y explique cómo varía la misma por un cambio en la velocidad de arrastre ¿ Qué sucede si utiliza flotandores hidrosinámicos en lugar de estáticos?

4) Cuando debe aparejar una red pelágica indique, con referencia a las bridas:
   a) longitud para trabajar en aguas profundas
   b) idem en aguas someras
   c) conveniencia para el caso b (10m)

5) Qué cantidad de emabndo se aplica en la construcción de redes de cerco para bonito en nuestro país y qué cantidad de plomo llevan por braza de relinga inferior? (5m)

6) Qué significa un hilo con la siguiente característica:
   a) 23 tex x 4 x 3 ; R 320 tex, Z
   b) 210 x 4 x 3
   c) 210 x 12 (10m)

7) Cuáles son los cuatro tipos de cosntrucción de cables más conocidos ? Cuál se usa para cables de arrastre? Descripción o gráfico aclaratorio. (15m)

8) Indique qué tipo de corte (tantos nudos y/o lados) resulta de aplicar la fórmula de razón de corte en el paño que se muestra.
   A: 150
   d: 50
   a: 100

$$Rc = \frac{2d - (A-a)}{2\,(A-a)}$$

(1o m)

9) Explique, ayudándose con gráficos, la técnica exploratoria en el uso del so- (cualquiera sea el método de barrido usado) (20m)

EXAMEN LIBRE

CURSO: CAPITAN DE PESCA
MATERIA: TECNOLOGIA PESQUERA
FECHA : 27 de junio de 1983
LUGAR : MAR DEL PLATA

---

1) En qué instancias puede el pez consunir buena parte de sus reservas energéticas?
2) Enuncie las causas que aceleran la descomposición. Nombre por los menos cinco?
3) Qué importancia tienen en el pescado la elastina y el colágeno?
4) Independientemente del ataque bacteriano y enzimático, ocurren otros cambios químicos. Cuáles son y por qué se producen?
5) Cuál es la etapa más importante en la formación del hielo?
6) Qué procedimientos y cuidados requiere un congelador de placa de contacto, previo a comenzar la tarea de congelado?
7) Qué ocurre organolépticamente con un pescado congelado lentamente, despúes de ser descongelado?
8) Detalle las características organolépticas del peritoneo de la merluza en condiciones optima, buena , regular y mala.
9) Fundamente las razones por la cuál es obligatorio la reducción a bordo
10) Quál es la finalidad de la salazon húmeda y qué importancia tiene tecnologicamente la naturaleza de la sal utilizada?

II. 現学校における時間割／コース別

CURSO PATRON DE PESCA COSTERA

	1400 - 1525	1530 - 1655	1715- 1840	-1845 2010
LUNES	MAQUINAS Orlov	MATEMATICA Copello	C.A.I. Anibaldi	ARTES DE PESCA Maqui
MARTES	N A V E G A C I O N Ferraro		MANIOBRA Lucero	ARTES DE PESCA Maqui
MIERCOLES	REGLAMENTACIO Teodori	MANIOBRA Lucero	COMUNICACIO. Risso	SUPERVIVENCIA Dahl
JUEVES	C.A.I. Anibaldi	PRIMER.AUXIL de Diego	N A V E G A C I O N Ferraro	
VIERNES	MANIOBRA Lucero	METEOROLOGIA Galoppo	CARGA Y EST. Ferraro	NAVEGACION Ferraro

CURSO PATRON DE PESCA DE 2°

	1400 - 1525	1530 - 1655	1715 - 1840	1845 - 2010
LUNES	MATEMATICA Copello	EQUIP.ELEC. Anibaldi	N A V E G A C I O N Ferraro	
MARTES	REGLAMENTACION Teodori	MANIOBRA Lucero	N A V E G A C I O N Ferraro	
MIERCOLES	COMUNICACIONES Risso	EQUIP.ELEC. Anibaldi	MANIOBRA Lucero	ARTES DE PESC/ Maqui
JUEVES	N A V E G A C I O N Ferraro		PRIMER.AUXIL. de Diego	ARTES DE PESCA Maqui
VIERNES	METEOROLOGIA Galoppo	MANIOBRA Lucero	MAQUINAS Orlov	SUPERVIVENCIA Dahl

CURSO PATRON DE PESCA DE 1°

	1400 - 1530	1530- 1655	1715 - 1840	1845 - 2010
LUNES	N A V E G A C I O N Ferraro		ARTES DE PES. Maqui	C. A. I. Anibaldi
MARTES	SUPERVIVENCIA Dahl	MATEMATICA Copello	REGLAMENTA. Teodori	TECNOLO.PESQUE Ghys
MIERCOLES	C.A.I. Anibaldi	COMUNICACIO. Risso	ARTES DE PES Maqui	ARQUIT.NAVAL Godinez
JUEVES	MATEMATICA Copello	REGLAMENTAC. Teodori	C.A.I. Anibaldi	TECNOLO.PESQUE Ghys
VIERNES	N A V E G A C I O N Ferraro		METEOROLOGIA Galoppo	ARQUIT.NAVAL Godinez

CURSO MOTORISTA NAVAL

	1400 - 1525	1530 - 1655	1715- 1840	1845 2010
LUNES	E L E C T R I C I D A D Curuchet		MAQUI.AUXIL. Orlov	C.A.I. Galoppo
MARTES	MATEMATICA Copello	M O T O R E S Orlov		MAQUI.AUXIL. Orlov
MIERCOLES	MOTORES Orlov	REGLAMENTAC. Teodori	E L E C T R I C I D A D Curuchet	
JUEVES	PRIMER.AUXIL. de Diego	M O T O R E S Orlov		SUPERVIVENCIA Dahl
VIERNES	MAQUINAS AUXIL Orlov	MATEMATICA Copello	ELECTRICIDAD Curuchet	C.A.I. Galoppo

CURSO CONDUCTOR DE MAQUINAS NAVALES DE 3°

	1400 - 1525	1530 - 1655	1715 - 1840	1845 - 2010
LUNES	M O T O R E S Kusnesov		TURBINAS Hardoy	ELECTRICIDAD Colángelo
MARTES	MAQUIN. AUXIL. Orlov	MOTORES Kusnesov	ELECTRICIDAD Colángelo	TURBINAS Hardoy
MIERCOLES	MATEMATICA Copello	MOTORES Kusnesov	REGLAMENTAC. Teodori.	CALDERAS Mateos
JUEVES	MAQUIN.AUXIL. Orlov	MATEMATICA Copello	CALDERAS Mateos	C.A.I. Anibaldi
VIERNES	MOTORES Kusnesov	MAQUIN.AUX. Orlov	SUPERVIVENC Dahl	CALDERAS Mateos

CURSO CONDUCTOR DE MAQUINAS NAVALES DE 2°

	1400 - 1530	1530- 1655	1715 - 1840	1845 - 2010
LUNES	C.A.I. Anibaldi	MAQUIN.AUXIL Orlov	ELECTRICIDAD Colángelo	TURBINAS Hardoy
MARTES	MOTORES Kusnesov	REGLAMENTAC. Teodori	TURBINAS Hardoy	ELECTRICIDAD Colángelo
MIERCOLES	MOTORES Kusnesov	MATEMATICA Copello	INT.PLAN.CIR Orlov	MAQUINAS AUXI. Orlov
JUEVES	REGLAMENTACIO Teodori	C.A.I. Anibaldi	SUPERVIVENC Dahl	CALDERAS Mateos
VIERNES	MATEMATICA Copello	MOTORES Kusnesov	CALDERAS Mateos	MAQUINAS AUXIL Orlov

CLASES TEORICAS Y PRACTICAS DE LOS CURSOS DE CUBIERTA

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

Ⅲ. 甲板部コースの座学・実習クラス単元配分将来計画

	CAPITAN PESCA		PATRON P.de 1a.		PATRON P. de2a.		PATRON COSTERA	
	Teoría	Práctica	Teoría	Práctica	Teoría	Práctica	Teoría	Práctica
NAVEGACION	8	8	8	8	12	8	10	6
MANIOBRA	4	2	-	-	6	2	6	2
COMUNICACIONES	-	-	2	2	2	2	2	2
ARTES DE PESCA	4	4	4	4	4	4	4	4
TECNOLOG.PESQUERA	4	4	4	4	-	-	-	-
SUPERVIVENCIA	-	-	2	2	2	2	2	2

（1983年10月作成）

NOTA: Las horas prácticas,ya sea en Taller, Gabinete o a bordo del Buque de Instrucción, son aproximadas y se deberán ir reajustando a medida que los expertos y los profesores de la Escuela redacten los nuevos programas de estudio de las materias,o se vaya incorporando material didáctico para las clases.

（注）計画打合せチーム入手（58.10）

Ⅳ. 現学校におけるコース別カリキュウム 1983年10月入手

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

Curso: PATRON DE PESCA COSTERA

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado tal qeu lo habiliten para la conducción marinera, técnica, administrativa, disciplinaria y jurídica de embarcaciones pesqueras en operaciones de pesca marítima en navegación a vista de costa, según determina el Maximo de Cargo fijado para este Título.

PLAN DE ESTUDIO:

1- Maniobra.	6
2 Control de Averías e Incendio.	4
3 -Supervivencia.	2
4 -Navegación.	10
5 -Reglamentación.	2
6—Comunicaciones.	2
7- Carga y Estiba.	2
8- Máquinas.	2
9- Metacrología.	2
10-Primeros Auxilios.	2
11-Artes de Pesca.	4
12-Matemática.	2
TOTAL	40 horas clase semanales

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

Curso: PATRON DE PESCA DE 2.°

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado t al que lo habilite para desempeñarse en los aspectos marineros, técnicos, administrativo, disciplinario y jurídico como Segundo Patrón o Segundo Oficial en operaciones de pesca en navegación marítima o en buques factoría de pesca, según el Máximo de Cargo fijado para esta Título.

PLAN DE ESTUDIO:

1	Maniobra.	6
2	Supervivencia.	2
3	Navegación.	12
4	Reglamentación	2
5	Comunicaciones.	2
6	Máquinas.	2
7	Meteorología.	2
8	Equipos Electrónicos.	4
9	Primeros Auxilios.	2
10	Artes de Pesca.	4
11	Matemática.	2
	TOTAL	40 Horas clase semanales.

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

Curso: PATRON DE PESCA DE 1°

TITULO DE CONDUCCION:

Capacidad y aptitud en grado tal que lo habilitan para la conducción marinera, técnica, administrativa, disciplinaria y jurídica de embarcaciones pesqueras en operaciones de pesca marítima y representar los intereses del armador en los aspectos propios de su cargo, todo ello limitado por el máximo de Cargo fijado para este Titulo.

PLAN DE ESTUDIO:

1	Control de Averías e Incendio.	6
2	Supervivencia	2
3	Navegación	8
4	Reglamentación	4
5	Comunicaciones.	2
6	Meteorología	2
7	Artes de Pesca.	4
8	Tecnología Pesquera	4
9	Matemática	4
10	Arquitectura Naval.	4
	TOTAL	40 horas clase semanales

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : CAPITAN DE PESCA

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado tal que lo habiliten para la conducción marinera, técnica, administrativa, disciplinaria y jurídica de buques pesqueros o factorías de pesca en navegación marítima y representar los intereses del armador en los aspectos propios de su cargo.

PLAN DE ESTUDIO:

1.- Navegación	8
2.- Maniobra	4
3.- Arquitectura Naval	6
4.- Derecho Marítimo	4
5.- Meteorología	2
6.- Artes de Pesca	4
7.- Tecnología Pesquera	4
8.- Biología Pesquera	4
9.- Geografía Económica y Economía Pesquera	4
TOTAL	40 horas clase semanales

ESCUELA NACIONAL DE PESCA

CURSO : MOTORISTA NAVAL

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado tal que le habiliten para: Conducir motores propulsores, auxiliares e instalaciones eléctricas y mecánicas conexas en buques de la potencia que se fije como máximo de cargo para su título, en los aspectos operativos, mantenimiento y control. Cooperar en el mantenimiento de la seguridad estanca y en todo lo relativo a siniestros. Aplicar nomenclatura marinera común y propia de su orientación.

PLAN DE ESTUDIO:

1 - Motores	10
2 - Máquinas Auxiliares	6
3 - Electricidad	10
4 - Control de Averías e Incendio	4
5 - Supervivencia	2
6 - Reglamentación	2
7 - Primeros Auxilios	2
8 - Matemática	4
9 - Taller	
TOTAL	40 horas clase

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : CONDUCTOR DE MAQUINAS NAVALES DE 3°

NIVEL DE CAPACITACION: Capacidad y aptitud en grado tal que lo habiliten para: Conducir plantas auxiliares, eléctricas y conexas en buques de la potencia que se fije como Máximo de Cargo para su Título, en los aspectos operativos, mantenimiento y control. Cooperar en el mantenimiento de la seguridad estanca y en todo lo relativo a siniestros.

PROGRAMA DE MATERIAS DE ESTUDIO:

1.- Motores
2.- Turbinas
3.- Calderas y Máquinas Alternativas
4.- Máquinas Auxiliares
5.- Electricidad
6.- Control de Averías e Incendio
7.- Supervivencia
8.- Reglamentación
9.- Matemática

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

CURSO : CONDUCTOR DE MAQUINAS NAVALES DE 2°

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado tal que lo habiliten para: Conducir plantas propulsoras, auxiliares, eléctricas e instalaciones conexas en buques de la potencia que se fije como máximo de cargo para su título, en los aspectos operativos, mantenimiento y control. Conducir el personal a su cargo. Cooperar en el mantenimiento de la seguridad estanca y en todo lo relativo a siniestros.

PROGRAMA DE MATERIAS DE ESTUDIO:

1.-	Motores	6
2.-	Turbinas	4
3.-	Máquinas Auxiliares	6
4.-	Calderas	4
5.-	Electricidad	4
6.-	Planos y Circuitos	2
7.-	Control de Averías e Incendio	4
8.-	Supervivencia	2
9.-	Reglamentación	4
10.-	Matemática	4
	TOTAL	40 horas clase

E S C U E L A N A C I O N A L D E P E S C A

Curso : CONDUCTOR DE MAQUINAS NAVALES DE 1ª

NIVEL DE CAPACITACION:

Capacidad y aptitud en grado tal que lo habiliten para: Conducir plantas de propulsión,auxiliares,eléctricas e instalaciones conexas en buques de la potencia que se fije como Máximo de Cargo para su título,en los aspectos operativo,mantenimiento y control Conducir al personal a su cargo.Cooperar en el mantenimiento de la seguridad estanca y en todo lo relativo a siniestros.Asesorar sobre los intereses del Armador en los aspectos propios de su cargo.

PLAN DE ESTÚDIO:

1 - Motores 6
2 - Turbinas 4
3 - Máquinas auxiliares 4
4 - Calderas. 4
5 - Electricidad. 8
6 - Mecanismos y sistemas especuales. . 4
7 - Uso e interpretación de manuales. . 2
8 - Arquitectura naval. 4
9 - Matemática. 4

TOTAL ; 40 horas clase

V. カウンターパート候補者の履歴書

CAPITAN DE PESCA - BIOLOGIA PESQUERA

CURRICULUM VITAE

1. DATOS PERSONALES

Apellido: Otero
Nombres: Héctor Osvaldo
Lugar y fecha de nacimiento: Buenos Aires, 28 de noviembre de 1946
Nacionalidad: Argentino
Documentos: C. I. N° 5.683.916 - Policía Federal
L. E. N° 7.592.419 - D. M. Bs. As., Reg. 1°
Domicilio: Santiago del Estero 3216 - 7600 Mar del Plata
Provincia de Buenos Aires - Argentina

2. TITULOS

2.1. Estudios cursados y grados obtenidos:
Licenciado en Ciencias Biológicas

2.2. Título expedido por:
Facultad de Ciencias Exactas y Naturales de la Universidad Nacional de Buenos Aires, agosto de 1974.

2.3. Especialidad:
En Biología Pesquera, con el seminario para la licenciatura "Estudio de la estructura de población de la merluza (Merluccius merluccius hubbsi) en función de edad" y el seminario para el curso de Oceanografía Biológica "EStudio de la estructura poblacional de Micromesistius australis (polaca)".

3. BECAS O ESTUDIOS ESPECIALIZADOS

3.1. Idiomas que domina:
Inglés (habla, lee y escribe).
Italiano (habla, lee y escribe).

3.2. Curso de entrenamiento en "Marine Fisheries Research" en el Tokai Regional Fisheries Research Laboratory". Beca otorgada por la Embajada de Japón. Desde el mes de setiembre 1977 hasta el mes de marzo de 1978.

3.3. Curso de entrenamiento en "Dinámica de Poblaciones", en el "Northwest and Alaska Fisheries Center" de Seattle, Estado de Washington, U.S.A. Beca otorgada por el Gobierno ARgentino. Desde el mes de mayo de 1979

hasta el mes de agosto del mismo año.

4. ACTIVIDADES

4.1. Actuales.

4.1.1. Investigador del Instituto Nacional de Investigación y Desarrollo Pesquero (INIDEP), categoría 2. Desde el 1° de julio de 1978.

4.1.2. Jefe del Laboratorio de Dinámica de Poblaciones y Evaluación de Recursos Pesqueros (INIDEP). Desde el 1° de julio de 1978.

4.1.3. Director del Proyecto "Proceso Pesquero de los Recursos Demersales del INIDEP. Desde el 3 de octubre de 1980.

4.1.4. Profesor adjunto dedicación simple de la asignatura Biología Pesquera y Métodos de Captura del Departamento de Ciencias Naturales de la Universidad Nacional del Sur. Desde mayo de 1981.

4.1.5. Profesor adjunto dedicación simple de la asignatura Biología Pesquera y Métodos de Captura de la Facultad de Ciencias Exactas y Naturales de la Universidad Nacional de Mar del Plata. Desde abril de 1982.

4.2. Anteriores.

4.2.1. Ayudante de 1° con dedicación exclusiva, de la cátedra de "Biología Pesquera" de la Facultad de Ciencias Exactas y Naturales de la Universidad Nacional de Buenos Aires, con lugar de trabajo en el Instituto de Biología Marina de Mar del Plata (actual INIDEP), desde el 1° de marzo hasta el 31 de diciembre de 1976.

4.2.2. Investigador contratado del Instituto de Biología Marina, desde el 1° de enero hasta el 30 de abril de 1977.

4.2.3. Profesional Universitario en Biología Marina del Departamento de Explotación de la Dirección Nacional de Pesca Marítima, Algología y Caza Marítima de la Subsecretaría de Pesca, Secretaría de Intereses Marítimos, con lugar de trabajo en el Instituto Nacional de Investigación y Desarrollo Pesquero (INIDEP), desde el 1° de mayo de 1977 hasta el 30 de junio de 1978.

4.2.4. Jefe de Trabajos Prácticos, con semidedicación, del curso "Zoología de Vertebrados" de la Facultad de Ciencias Exactas, Naturales y Biológicas (antes Facultad de Humanidades) de la Universidad Nacional de Mar del Plata, desde el 1° de abril de 1977 hasta el 31 de julio de 1979.

4,2.5. Profesor adjunto con semidedicación, del curso Zoología de Vertebrados" de la Facultad de Ciencias Exactas, Naturales y Biológicas de la Universidad Nacional de Mar del Plata, desde el 1° de agosto de 1979, hasta el 1° de agosto de 1980.

4.2.6. Profesor adjunto con semidedicación de la asignatura Biología Pesquera de la Facultad de Ciencias Exactas, Naturales y Biológicas de la Universidad Nacional de Mar del Plata. Desde el 1° de agosto de 1980 hasta abril de 1982.

5. EXPOSICION SINTETICA DE LA LABOR CIENTIFICA REALIZADA

La línea de trabajo encarada se basa fundamentalmente en el estudio de la Dinámica de Poblaciones de Organismos Marinos y la Evaluación de los Recursos Pesqueros del Mar Argentino. Con este propósito, realizó/a estudios sobre especies de importancia comercial tales como la merluza común (Merluccius hubbsi) la merluza austral (Merluccius polylepis), la polaca (Micromesistius australis), el abadejo (Genypterus blacodes) y otras.

Los métodos empleados para tales investigaciones son los conocidos in-

ternacionalmente, entre los que se pueden citar para el caso de Dinámica de Poblaciones, los desarrollados por Schaeffer, Pella y Tomlinson, Ricker y Beverton. En el caso de Evaluación de Recursos Pesqueros por métodos directos, aquellos desarrollados por Alverson y por Gulland. En los casos necesarios se utilizaron adapataciones de acuerdo con las características de los recursos, objeto de investigación o se formularon nuevos modelos que permitieron una interpretación más adecuada de su dinámica.

[illegible]

[illegible] con ser:dedicación del curso

CAPITAN DE PESCA - TECNOLOGIA PESQUERA

CURRICULUM VITAE

Nombre y apellido: ALBERTO OSVALDO BARRAL
Documento de identidad: L. E. 4.703.531
Fecha de nacimiento: 18-12-47
Lugar de nacimiento: Capital Federal
Domicilio: Chacabuco 3946, Mar del Plata.

ESTUDIOS CURSADOS

Secundarios: Título Técnico Químico
Egreso Diciembre de 1966
Establecimiento: ENET Nº 12 "H. IRIGOYEN", Capital Federal.

Universitarios: Título Ingeniero Químico
Egreso 23-4-81
FACULTAD DE INGENIERIA, UNIVERSIDAD NACIONAL DE MAR DEL PLATA.

ANTECEDENTES LABORALES

-PATIGRAF S.R.L.: Fábrica de Pinturas, Capital Federal. Laboratorio de "Control de Calidad y Producción"

- E.E.R.A. INTA, Balcarce. "Laboratorio de Rutina", Depto. de "producción Animal". Cargo ganado por concurso.

- FRIGORIFICO SAN TELMO, Control de Calidad y Control de Produccion de Conservas y Carnes para Exportación.

- DEPARTAMENTO DE BROMATOLOGIA DE GENERAL PUEYRREDON, Laboratorio Regional. Analisis Bromatológico de Alimentos para Consumo Humano.

ANTECEDENTES EN DOCENCIA

- A.T.T.P. ENET Nº 1 "Domingo Faustino Sarmiento" de Mar del Plata, en la carrera de Técnico Químico.

- ENET Nº 2 "Alfonsina Storni" de Mar del Plata. Profesor Interino de la materia "Procesos y Equipos Industriales" en la carrera de Técnico Químico, especialidad Industrias de la Alimentación.

- ENET Nº 2 "Alfonsina Storni" de Mar del Plata. Profesor Interino de la materia "Tecnología Pesquera" en la carrera de Técnico Químico , especialidad Industrias

.a Alimentación.

.URSOS REALIZADOS

- CURSO DE TECNOLOGIA PESQUERA, di .ado por el Ing. Héctor .. Cupín. Facultad de Ingeniería, Depto. de Ingeniería Química, Universidad Nacional de Mar del Plata. Curso para graduados.

- I° SEMINARIO DE MICROBIOLOGIA DE PRODUCTOS PESQUEROS, Dr. Osvaldo Scorza- Dr. Jorge Chirife- Dr. Alfredo Moro, pertenecientes al Instituto de Farmacología y Bromatología de Buenos Aires y el Dr. Emilio Pineda, perteneciente al IRAM . Dictado en el INIDEP el 01-12-79.

- III SEMINARIO SOBRE MICROBIOLOGIA PARA LA INDUSTRIA PESQUERA, dictado por la Sra. Zulema Maffe y dra. Elsa Mercado, pertenecientes al Instituto de Farmacología y Bromatología de Buenos Aires. Dictado en el INIDEP el 12-09-80.

- V SEMINARIO DE MICROBIOLOGIA PARA LA INDUSTRIA PESQUERA, dictado por las Dras. Martha Raffo Palma y María E. Cordal de Bobbi, en el INIDEP el 14-11-80.

- ENCUENTRO NACIONAL DE TECNICAS DEL FRIO, organizado por el INTI y la Asociación Argentina del Frio, desarrollado en el edificio Central del INTI en Capital Federal del 23 al 25-11-81.

- TECNOLOGIA DE ENVASES FLEXIBLES, dictado por el Ing. Erro en la sede central del INIDEP en Diciembre de 1982.

PUBLICACIONES Y TRABAJOS

- OBTENCION DE DERIVADOS SULFATADOS DE ACEITES DE PESCADO INDUSTRIAL Y SU APLICACION EN NUTRICION DE CUEROS, 1982, Carrizo, Barral , Cuello, Barandiaran y Lacourt.

- EVALUACION DE LA EFICIENCIA DEL USO DE CONTENEDORES CON AGUA DE MAR-HIELO EN EL MANEJO Y CONSERVACION DE MERLUZA A BORDO, Barral A.O. 1982. Aprobado por el comite Editorial del INIDEP para su publicación en "ALIMENTACION LATINOAMERICANA".

- PROCESO PESQUERO PATAGONICO, Bertolotti M.I., Barral A.O., Piergentili G.V.. 1982. En Prensa para ser publicado en las Contribuciones al INIDEP.

- INFLUENCIA DE LA CONSERVACION DE MERLUZA A BORDO, EN CONTENEDORES CON AGUA DE MAR HIELO, SOBRE LA CALIDAD DE TRONCOS CONSERVADOS POR CONGELACION, trabajo en ejecución Barral A.O. (Colab. Dr. Christiensen y Monticelli).

- PESENTACION Y ANALISIS DE LOS RESULTADOS DEL RELEVAMIENTO DE LA INDUSTRIA PESQUERA NACIONAL. Trabajo en ejecución, varios autores.

- INFORME TECNICO SOBRE MERLUZA SALADA PARA LA FIRMA ESCA SRL, de Quequen. Mayo de 1982. Barral A.O.

- Colaboración en el Boletin Informativodel INIDEP Nº 5/82, 30-09-82.

OTROS ANTECEDENTES

- Campañas Cientificas à bordo del Buque de Investigación Pesquera "Dr. Eduardo L. Holmberg":

Campaña 01/80, 21-10-80 al 27-10-80.
Campaña 04/81, 01-06-81 al 08-07-81.
Campaña 08/81, 17-11-81 al 27-11-81.
Campaña 01/82, 11-01-82 al 23-01-82.
Campaña 02/83, 26-01-83 al 15-02-83.
Campaña 05/83, 22-06-83 al 11-07-83.

- Conferencia sobre Tecnología Pesquera, dictada en la Sede del Cologio de Farmaceuticos, del Partido de General Pueyrredon, en el més de Diciembre de 1982.

CAPITAN DE PESCA - GEOGRAFIA ECONOMICA Y ECONOMIA PESQUERA

"CURRICULUM-VITAE"

1.- DATOS PERSONALES

Apellido y Nombre: BALTAR, Roberto

Edad: 39 años

Fecha de Nacimiento: 21 de Noviembre de 1943.

Nacionalidad: Argentino

Estado Civil: Casado

Domicilio: 11 de Setiembre 4093

Documento de Identidad: L.E. nº. 5.329.418

2.- ESTUDIOS CURSADOS

Universitarios: Licenciatura en Economía

Título: Licenciado en Economía otorgado por la Universidad Nacional de Mar del Plata Año 1975

3.- ANTECEDENTES ACADEMICOS

UNIVERSIDAD NACIONAL DE MAR DEL PLATA

Facultad de Ciencias Económicas

- Ayudante de Segunda en la Cátedra "Introducción a la Economía", desde Julio de 1973-Julio 1975.
- Jefe de Trabajos Prácticos en la Cátedra "Introducción a la Economía", desde Julio de 1975-Abril de 1976.
- Profesor Adjunto en la Cátedra "Introducción a la Economía", desde Abril de 1976 hasta el 30-4-81.
- Jefe de Trabajos Prácticos en la Cátedra "Microeconomía", desde Abril de 1976-Marzo 1977; a cargo de la Cátedra "Microeconomía I" para Economistas por ausencia del titular.
- Profesor Asociado en la Cátedra de "Microeconomía", desde Abril de 1977 a cargo de la misma.
- Profesor Titular de la Cátedra "Economía Pesquera", desde Mayo de 1981.

FACULTAD DE DERECHO

- Ayudante de Primera en la Cátedra "Economía Política", des-

de Julio de 1975 hasta Diciembre de 1975.

- Profesor Adjunto en la Cátedra "Economía General", desde Mayo de 1977.

INSTITUTO DE PLANEAMIENTO UNIVERSITARIO

- Profesor Adjunto con dedicación parcial en el Departamento de Planeamiento, desde Diciembre de 1976-Abril de 1977.
- Profesor Adjunto en el Departamento de Planeamiento con dedicación simple, desde Abril de 1977.
- Secretario Técnico del Instituto desde Febrero de 1977 hasta Agosto de 1977.
- Jefe de Departamento de Planeamiento, desde Febrero de 1977 hasta Abril de 1977 y a cargo del mismo hasta el 1°. de Abril de 1978.

UNIVERSIDAD NACIONAL DEL CENTRO DE LA PROVINCIA DE BUENOS AIRES
Facultad de Ciencias Económicas - Unidad Académica Tandil

- Profesor Asociado en la Cátedra "Microeconomía", desde Abril de 1977 a cargo de la misma hasta Marzo de 1979.
- Profesor Asociado en la Cátedra "Macroeconomía", desde Abril de 1977 hasta Marzo de 1978.
- Colaboración en la Cátedra "Proyectos Económicos" sin designación, en el segundo cuatrimestre de 1977.
- Profesor Asociado en la Cátedra "Evaluación de Proyectos", a cargo desde Abril de 1978 hasta Marzo de 1979.
- Profesor Titular de "Microeconomía", desde Abril de 1979.
- Profesor Titular en la Cátedra "Evaluación de Proyectos", desde Abril de 1979.

4.- CURSOS DICTADOS

- Curso sobre Evaluación de Proyectos dictado en la Facultad de Ciencias Económicas de la Universidad del Centro de la Provincia de Buenos Aires, para Post-Graduados, organizado por la Secretaría General de dicha alta casa de estudios, Agosto/Noviembre de 1981.

5.- ANTECEDENTES LABORALES

- Auxiliar Técnico en la Secretaría Municipal de Planificación y Desarrollo de la Municipalidad de General Pueyrredón, Mayo 1972-Marzo 1976.
- Profesional Planificador en la Secretaría Municipal de Planificación y Desarrollo de la Municipalidad de General Pueyrredón, Marzo/Setiembre 1976.
- Asesor Presupuestario de la Secretaría de Gobierno de la Municipalidad de General Pueyrredón, Setiembre/Abril 1977.
- Analista Mayor de la Subsecretaría de Pesca (Dirección de Pes Marítima) a cargo del Departamento de Comercialización-Distrito Mar del Plata, desde Setiembre de 1977 y 2do. Jefe del Distrito Mar del Plata, desde Mayo de 1979 hasta Noviembre de 1980.
- Jefe del Distrito Mar del Plata de la Dirección Nacional de Pesca Marítima, desde Noviembre de 1980.

6.- ESTUDIOS REALIZADOS

MUNICIPALIDAD DE GENERAL PUEYRREDON

- Implementación y Análisis del Censo Industrial en el Partido de General Puerredón. 1973
- Análisis del sector pesquero en Mar del Plata. 1972.
- Estudios para la implementación de un control de calidad en el Puerto Mar del Plata. 1972
- Estudio preliminar para la implantación óptima de la nueva terminal ferroviaria, de transportes colectivos a larga distancia y playa de ruptura en el área urbana. 1976
- Zonificación Area Batán-Chapadmalal. 1974
- Análisis y codificación de los sectores Industria, Servicios y Comercio dentro del Partido de General Pueyrredón. 1973
- Determinación de la capacidad contributiva de la población del Partido y actualización de las áreas fiscales diferenciales. 1975

- Zonificación preventiva Alto Camet. 1975
- Estudio de factibilidad, traslado y/o construcción de un nuevo Matadero Municipal.
- Encuesta sobre empleo y desempleo y sus causas. 1973
- Equipamiento Industrial del sector pesquero. Encuesta, análisis, resultados. 1973
- Determinación del Área Industrial Pesquera dentro del ejido urbano. 1976
- Factibilidad económica de la implantación de un Parque Industrial en Mar del Plata. 1972
- Determinación de la unidad económica para cultivos intensivos en el área de Sierra de los Padres. 1975
- Estudio del sector turístico y su participación relativa en el desarrollo del Partido de General Pueyrredón. 1974

UNIVERSIDAD NACIONAL DE MAR DEL PLATA

- Determinación del costo graduado por carrera y facultad y/o unidad académica. 1977
- Estudio y determinación de la duración media de las carreras, por año y/o unidad académica.
- Análisis de la deserción por facultad y carrera. Sus causas.
- Evolución de los salarios docentes en el período 1971/1976.
- Relación salarios docentes/no docentes período 1973/1976.

DIRECCION NACIONAL DE PESCA MARITIMA

- Evolución del sector harinero en Mar del Plata en el período 1970/1980.
- Evaluación de las ventajas y desventajas económicas de convertir al Puerto de Mar del Plata en un puerto pesquero.
- Análisis del costo de los servicios portuarios y su influencia con la actividad de la flota pesquera.
- Estudio sobre el costo y beneficios de la intermediación en el

- mercado interno de productos pesqueros.
- Análisis de rentabilidad de unidades de pesca de rada o ría.

Ⅵ. 新学校建設無償資金協力にかかる交換公文（署名１９８３年１２月７日）

Ministro de Relaciones Exteriores y Culto.-

BUENOS AIRES, 7 de diciembre de 1983.-

SEÑOR EMBAJADOR:

Tengo el honor de acusar recibo de la atenta nota de Vuestra Excelencia fechada el día de hoy, que dice lo siguiente:

"Excelencia,

" Tengo el honor de referirme a las conversaciones recien-
"temente celebradas entre los representantes del Gobierno del Japón
"y del Gobierno de la República Argentina, relativas a la coopera-
"ción económica japonesa, con miras a fortalecer las relaciones de
"amistad y de cooperación entre los dos países, y proponer a nombre
"del Gobierno del Japón el siguiente acuerdo:

"1. Con el objeto de contribuir a la ejecución del proyecto
"para el establecimiento de la nueva Escuela Nacional de Pesca (en
"adelante se le denominará "el Proyecto") por el Gobierno de la Repú-
"blica Argentina, el Gobierno del Japón extenderá al Gobierno de la
"República Argentina, de acuerdo con las leyes y reglamentos perti-
"nentes del Japón, una donación, hasta por la suma de mil ochenta

A SU EXCELENCIA
EL SEÑOR EMBAJADOR EXTRAORDINARIO Y PLENIPOTENCIARIO DEL JAPON
D. Senkuro SAIKI
BUENOS AIRES.

"millones de yenes japoneses (1.080.000.000) (en adelante se le de-
"nominará "La Donación").

"2. La Donación se hará efectiva durante el período compren-
"dido entre la fecha en que entre en vigor el presente acuerdo y el
"6 de diciembre de 1984, a menos que el período sea prorrogado por
"mutuo acuerdo entre las autoridades competentes de los dos Gobiernos.

"3. (1) La Donación será utilizada por el Gobierno de la Re-
"pública Argentina apropiada y exclusivamente para la adquisición
"de los siguientes productos japoneses o argentinos y servicios de
"nacionales japoneses o argentinos necesarios para la ejecución del
"Proyecto: (El término "nacionales" siempre que se use en el presen
"te acuerdo, significa personas físicas japonesas o personas jurídi
"cas japonesas controladas por personas físicas japonesas en el ca-
"so de nacionales japoneses, y personas físicas argentinas o perso-
"nas jurídicas argentinas en el caso de nacionales argentinos.)

"(a) productos y servicos necesarios para la construcción de la
"nueva Escuela Nacional de Pesca (en adelante se le denominará "la
"Escuela");

"(b) los equipos necesarios para la Escuela y servicios necesarios
"para la instalación de los equipos;

"(c) un barco de adiestramiento y equipos de pesca de origen japo-
"nés;

"(d) servicios necesarios para el transporte hasta los puertos de
"la República Argentina de los productos mencionados en (a), (b) y
"(c); y los servicios necesarios para su transporte dentro de la Re
"pública Argentina.

" (2) No obstante lo arriba estipulado en (1), la Donación

"podrá ser utilizada, cuando los dos Gobiernos lo estimen necesa-
"rio, para la adquisición de los productos y equipos de la especie
"arriba mencionada en (1) (a) y (b), cuyo país de origen no sea el
"Japón ni la República Argentina, y de los servicios de la especie
"arriba mencionada en (1) (a), (b) y (d), que no sean de los de na-
"cionales japoneses ni de nacionales argentinos.

"4. El Gobierno de la República Argentina o la autoridad de-
"signada por él concertará contratos, en yenes japoneses, con nacio
"nales japoneses para la adquisición de los productos y los servi-
"cios a que se refieren en el numeral 3. A fin de ser aceptables pa
"ra la Donación, tales contratos deberán ser reconocidos por el Go-
"bierno del Japón.

"5. (1) El Gobierno del Japón llevará a cabo la Donación e-
"fectuando pagos, en yenes japoneses, para cubrir las obligaciones
"contraídas por el Gobierno de la República Argentina o la autori-
"dad designada por él, bajo los contratos reconocidos de acuerdo
"con lo estipulado en el numeral 4 (en adelante se les denominará
""los Contratos Reconocidos"), acreditándolos a una cuenta que se
"abrirá a nombre del Gobierno de la República Argentina, en un ban-
"co japonés autorizado para cambio extranjero en el Japón y desig-
"nado por el Gobierno de la República Argentina o la autoridad de-
"signada por él (en adelante se le denominará "el Banco").

" (2) Los pagos arriba citados en (1) se efectuarán cuando
"las solicitudes de pago sean presentadas por el Banco al Gobierno
"del Japón en virtud de una autorización de pago expedida por el Go
"bierno de la República Argentina o la autoridad designada por él.

" (3) El objeto único de la cuenta arriba citada en (1),

"será recibir en yenes japoneses los pagos que haga el Gobierno del "Japón y pagar a los nacionales japoneses que sean las partes contra "tantes de los Contratos Reconocidos. Los detalles sobre el procedi- "miento concerniente al crédito y débito de la cuenta serán acorda- "dos mediante consulta entre el Banco y el Gobierno de la República "Argentina o la autoridad designada por él.

"6. (1) El Gobierno de la República Argentina tomará las me- "didas necesarias para:

" (a) asegurar y allanar un lote de terreno necesario para " la Escuela;

" (b) proveer de instalaciones para la distribución de e- " lectricidad, suministro de agua y el sistema de desa " güe y otras instalaciones adicionales fuera del lote;

" (c) asegurar el pronto desembarco y despacho aduanero, en " los puertos de desembarco en la República Argentina, " y el pronto transporte interno de los productos adqui " ridos bajo la Donación;

" (d) eximir del pago de derechos aduaneros, impuestos in- " ternos y otras cargas fiscales que se impongan a los " nacionales japoneses en la República Argentina con " respecto al suministro de los productos y los servi- " cios bajo los Contratos Reconocidos;

" (e) acordarles a los nacionales japoneses, cuyos servi- " cios sean requeridos en conexión con el suministro de " los productos y los servicios bajo los Contratos Re- " conocidos, tales facilidades como sean necesarias pa- " ra su ingreso y estadía en la República Argentina pa-

" ra el desempeño de sus funciones;

" (f) asegurar que la Escuela construída y los productos
" adquiridos bajo la Donación sean debida y efectiva-
" mente mantenidos y utilizados para la ejecución del
" Proyecto; y

" (g) sufragar todos los gastos necesarios, excepto aquellos
" gastos a ser cubiertos por la Donación, para la eje-
" cución del Proyecto.

" (2) Los productos adquiridos bajo la Donación no deberán
"ser reexportados de la República Argentina.

"7. Los dos Gobiernos se consultarán mutuamente sobre cual-
"quier asunto que pueda surgir del presente acuerdo o en conexión
"con él.

" Además, tengo el honor de proponer que la presente nota
"y la de respuesta de Vuestra Excelencia, confirmando su aceptación
"del presente acuerdo a nombre del Gobierno de la República Argenti
"na, sean consideradas como las que constituyen un acuerdo entre
"los dos Gobiernos, el cual entrará en vigor en la fecha de la no-
"ta de respuesta de Vuestra Excelencia.

" Aprovecho la oportunidad para renovar a Vuestra Excelen-
"cia las seguridades de mi más alta y distinguida consideración
"Buenos Aires, 7 de diciembre de 1983.".

Además, tengo el honor de confirmar, a nombre del Gobierno de la República Argentina, el acuerdo antes trans

cripto y acordar que la nota de Vuestra Excelencia y la presente sean consideradas como las que constituyen un acuerdo entre los dos Gobiernos, el cual entrará en vigor en la fecha de la presente nota.

Aprovecho la oportunidad para renovar a Vuestra Excelencia las seguridades de mi más alta y distinguida consideración.

Ⅶ. ア国海軍と日本民間企業との契約を承認する特別法律（１９８３.１２.５大統領署名）

Ministerio de Defensa

BUENOS AIRES, 7 NOV 1983

EXCELENTISIMO SEÑOR PRESIDENTE DE LA NACION:

Tenemos el honor de dirigirnos al Primer Magistrado, con el objeto de elevar a su consideración el adjunto proyecto de ley por el cual, en atención a los fundamentos que se darán más adelante, se autorizaría al Comando en Jefe de la Armada a concretar los pasos que posibiliten la construcción, equipamiento y puesta en marcha de la nueva "Escuela Nacional de Pesca"

Con ese objeto, el 9 de agosto del corriente año, el Director General de Instrucción Naval del Comando en Jefe de la Armada, suscribió un acuerdo preliminar con el representante de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón, en el que se sientan las bases para lograr el propósito mencionado.

Lo acordado resulta ser consecuencia de una serie de tratativas encaminadas a concretar -como se ha dicho-, la construcción, equipamiento y puesta en marcha de la escuela referida en reemplazo de la existente, la que contará no solamente con instalaciones más apropiadas, sino con modernos elementos tecnológicos que le permitirán cumplir acabadamente su cometido.

Sabida es la importancia que, desde el punto de vista estratégico y geopolítico, tiene para la República Argentina la presencia en el mar que baña sus costas y allende las mismas, y cuanto representa para la economía nacional el contar con personal altamente capacitado en la explotación racional de los inmensos recursos ictícolas que están a su alcance.

El convenio de que se trata, bajo

///.

el sistema de "cooperación financiera no reembolsable", como lo indican dichas expresiones implica que no demandará al Fisco Nacional ninguna erogación, toda vez que ella será soportada por el Gobierno del Japón.

Conforme la ley que se propone, el Comando en Jefe de la Armada quedará autorizado -de acuerdo con lo establecido en el artículo 64, último párrafo de la Ley de Contabilidad- a aceptar la donación que supone el equipamiento y la construcción de la nueva "Escuela Nacional de Pesca", por el ya referido sistema de "cooperación financiera no reembolsable" y, asimismo, a contratar con entidades privadas japonesas los trabajos necesarios a los fines del proyecto, empresas estas que, a su vez, podrán subcontratar con otras de nuestro país la ejecución de las obras, la provisión de elementos de fabricación nacional y la inspección y dirección de las mismas.

Aún cuando el proyecto no demandará, como se ha expresado más arriba, erogación alguna para el Estado, en razón de que no se trata de adquisiciones que requieran inversión de fondos públicos, con fundamento en las características especiales del proyecto, se hace necesario el dictado de una ley especial que autorice a suscribir los documentos y compromisos que hagan factible el mismo.

En materia de derechos de importación, impuestos, tasas o gravámenes, con motivo de la introducción al país de efectos, materiales o bienes destinados a la construcción y equipamiento de la obra a que se alude, se estará a lo establecido en el referido convenio de Cooperación aprobado por

Ministerio de Defensa

///.

la ley N° 22.479.

Dios guarde a Vuestra Excelencia.

JUAN CARLOS CAMILLONI
MINISTRO DE DEFENSA

DR. JORGE WEHBE
MINISTRO DE ECONOMIA

El Poder Ejecutivo Nacional

BUENOS AIRES, 29 DIC 1983

En uso de las atribuciones conferidas por el artículo 5° del Estatuto para el Proceso de Reorganización Nacional,

EL PRESIDENTE DE LA NACION ARGENTINA

SANCIONA Y PROMULGA CON FUERZA DE LEY:

ARTICULO 1°.- Autorízase al COMANDO EN JEFE DE LA ARMADA a contratar con entidades privadas japonesas la preparación y confección del proyecto, ejecución de las obras, suministro de bienes, materiales, elementos, otros efectos y prestaciones de servicios, que se requieran para el edificio de la nueva "ESCUELA NACIONAL DE PESCA" y su equipamiento, que serán atendidos con fondos a proporcionar por el Gobierno del Japón bajo el régimen de "cooperación financiera no reembolsable", conforme al acuerdo preliminar suscripto en la ciudad de Buenos Aires el 09 de agosto de 1983, entre el DIRECTOR GENERAL DE INSTRUCCION NAVAL del citado Comando en Jefe y el representante de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón.

ARTICULO 2°.- Facúltase al COMANDO EN JEFE DE LA ARMADA a aceptar, en su oportunidad, la donación del nuevo edificio para la "ESCUELA NACIONAL DE PESCA" y su equipamiento.

ARTICULO 3°.- A los efectos de esta ley serán de aplicación en cuanto resultare del caso, las disposiciones de los artículos V, VI y VII del Convenio sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno de la República Argentina y el Gobierno del Japón, celebrado en la Ciudad de Tokio el 11 de octubre de 1979, que fuera aprobado por la ley N° 22.479. Dichas normas alcanzarán asimismo -en idénticas condiciones- a las entidades privadas japonesas y a los expertos enviados por las mismas y sus familiares, con motivo de las contrataciones a que se refiere

M.D.

///.

el artículo 1° de la presente ley.

ARTICULO 4°.- El Poder Ejecutivo Nacional invitará a la Provincia de Buenos Aires a fin de que acuerde exenciones relacionadas con tributos de su jurisdicción, referidos a las obras mencionadas en el artículo 1°.

ARTICULO 5°.- Comuníquese, publíquese, dese a la Dirección Nacional del Registro Oficial y archívese.

LEY Nº 22999

Secret. General Presidencia
Asuntos Leg. y Adm.

M.D.
104

GRAL. BRIG. (R) JUAN CARLOS CAMBLOR
MINISTRO DE DEFENSA

DR. JORGE WEHBE
MINISTRO DE ECONOMIA

LLAMIL RESTON
GENERAL DE DIVISION
MINISTRO DEL INTERIOR

PRESIDENCIA DE LA NACION

OSCAR GUILLERMO

Ⅷ　そ　の　他

(I) 学校における試験について

(1) 各科目担当教授は１０～２０問出題し，学校当局（校長，副校長）が幾つかを選択し，正式の試験問題とする。生徒は選択権を持たず，全ての設問に回答する必要がある。

(2) 試験回数（４カ月コース）

３回の月間試験 最終試験（最も重要視される）	平均点も重要である。

① 最終試験の前に１週間の休暇が与えられる。

② 年間７日間欠席すれば最終試験を受験できない（遅刻は半日分の欠席とみなされる）。

(3) 教授が教える項目については学校側が決定し，各教授はその項目に沿って講義する必要がある。その場合，生徒の能力（小学生レベル）を十分考慮する必要があり，項目によっては詳細に，又は簡略に教えることになる。上位クラスでは復習という位置づけで教授される項目もある。

(4) 入学試験

① 機関，甲板部（各４コース）とも各々入学試験がある。

② 一定基準に達しないと入学不許可（但し，例外的に数学は合格点に達しないが，長年の航海経験をもつ者の入学を許可する場合もある）。

③ 通常，数学と国語（スペイン語）であるが，コースによって航海についてのテストも課される。

(II) 国家自由試験等について

(1) 本年（５８年）から自由試験の設問と審査を同学校が行なうことになった。社会的影響を考慮して慎重に対応することが求められているが，同試験内容をさらにむずかしくすることによって，本漁業学校に入学せねば漁船の海技資格を取得できないようにしつつある。

(2) 自由試験の科目，内容については学校が決定できることになっているが，海軍教育総局の承認をとる必要がある。

(III) 学校の教員について

(1) 既存学校においてＣＰとなりうる教授（教員）の数

	（現在の数）	（将来におけるＣＰの増加予定）
漁具漁法	1	1
漁獲物処理	1	0
航海関係	1	0

新学校では full time になろう。

(2) 学校の教員数

現在１６～１７名

４名 フルタイマー（数学，航海，運用，機関）

ＩＮＩＤＥＰからの教員３名

セミナーもＩＮＩＤＥＰ，マルデルプラタ大の教授，研究者が実施する。

将来２７～３５名

海上実習，各種演習（電気，機関，ブリッジシミュレーション）及び新しいコースの教員（水夫，機関補助員の教員も増えることになる）。

乗組員，船長，機関士，補助員

≪新しい教員の採用≫

○商船，漁業分野での退役者が大勢存在する。

○船長機関長会（クラブ）に属する者からの採用もある。

○一般科目は他の学校，マルデルプラタ大学（分野：地理学，生物学，水産経済…）からも出張講義可能である。

＊ full time の意味

１３：４５－２０：１０まで学校に拘束される教員のこと。

現在４名いる。

(Ⅳ) そ の 他

(1) 下級船員養成施設（Marinera）－at MDP

週３回のみ講義

(2) 火災海難コントロール訓練センター

CIACAI at Belgrano

① 河川，商船学校の生徒もバイアブランカで火災，海難防止訓練を受けている。但し，その訓練期間は異なる（１週間～）。

② 本訓練を通じて乗組員に命の重要性を教える。

③ 本プールができれば，これまでバイアブランカでやっている１週間の訓練を短縮できるか，又は消火訓練をもっと充実させられる。

④ バイアブランカのプールは水深３ｍ，３０×３０ｍ

⑤ 専門の教員がおり，海難の場合の訓練，応急措置，防災訓練を行う。

(3) 訓練船の港湾使用

海軍所有船であるので，いずれの場所でも係船は港湾局によって認められる。

(4) 現行教育期間

3／1～7／15

8／1～12／16

（土日休み）

(5) 教務部の配置予定人員数には教員数（２７～３５名）を含まない。

(6) PESPASAの漁獲枠 ― 25,000トン（漁獲実績もほぼ同じ）

７５％はアルゼンティン国民が漁船に乗船すべきことになっている（法律上）。

PESPASAでは約半分くらいのCrewがア国人である。

IVA=流通段階における付加価値税

日本からの輸入資機材：関税免除，IVAなし。

ア国内での　〃　調達：IVA免除無理である。

(7) Marinera

全国に８ケ所ある。

水夫，機関員養成（漁船，商船にものれる）

３－１１月開講（８ケ月半）

５８年７月現在，甲板５０人，機関３９人の生徒数

授業19：00－21：00

授業料無料

甲板，機関部とも週２日授業

海軍の管轄下にあるが，機能は独立して行なわれる。

(8) 学校 ― 訓練船との無線許可

水上警察から通信許可をもらって，沿岸局（海岸局）（港内を含めての安全をはかる）との通信可。

(9) Siteの所有権

港湾局の管理下にある国有地，海軍に所有権を移している（但し，学校建設用地目的にその使用を限定している）。

(10) 訓練船について

学校は海軍（教育総局）が管轄しており，海軍は独立した機関であるので，その訓練船も水上警察は管轄下におけない。

訓練船の図面一式を水上警察に提出してほしい。提出後，クルーの資格者を決定する。生徒も乗るので設計上安全面がどうなっているかの安全基準は，後日ブエノスアイレスと相談して決定する。ＦＲＰ船については特に規定がない。

（注） 供与される前に設計図を提示し，水上警察の事前の了解をとりつけておく必要がある（文書による）。但し，一体いかなる許可を取得するのか？ 安全上問題ない構造・設備であることを証明するのか，又，登録証をとるのか，運航者の資格付けを行うのか，要はいかなる事項（設計図を含めて）をカバーした申請書を提出すべきか，それに

よっていかなる種類の許可を得ることになるのか，運航上の制約があるのか？（cf海域指定）

(11) 教員の給与

— ア国では，本来あるべき給与額からして極めて低い。

— upする可能性を持っている。

— 4つのレベル（カテゴリー）がある。

— カテゴリー別にupする。cf. 中間職→上級職へ上げることによって50%upとする。

— ほとんどの教員は，中間レベルにある。

— 漁船長コースの教員についてはupする必要がある。

— 海軍独自の給与体系があって，それが大きく離れられない。

(12) 入学者

① 入学試験あり。

② ほとんど船員が入学する。

（船員手帳の中に航海日数が記される。水上警察が管轄する）

③ 数人はマルデルプラタ以外の出身者である。

④ 進路指導は行われていない。

(13) 自由国家試験制度（海洋／河川航行船のクルーについて各々テスト有）

① 合格率は低い。

② 実施回数

年2回	ブエノスアイレス	1～2回	テスト期間：3～4日かかる。
	バイアブランカ	〃	
	マルデルプラタ	1回	

③ 本試験を廃止する。

受験のための宿泊費，旅費は担当にの る。新学校で寮を設ける。

④ 本試験での倍率データ有

(14) 入学定員制限の理由

① capacityの問題

② 就職しやすいように（卒後の就職可能性を考えて定員限定）

(15) 教員の訓練

水産大学がないので，教員自身を教育するシステムがない。水産学部なし。実際面で経験をつんできた者から選ばれることになる。

(16) 教育システムの変更

① 海上実習は午前中を考えている。

② 水夫，機関補助員，零細船長 — 午前中に講義が行われることになろう。

③ 教材が入いり，時間数も拡大，徐々に修正要。過渡的な状況が生れ，教員・生徒も慣れて行く必要がある。

(17) アルゼンティン漁業者のmentality

急激な変化には抵抗がある。入学してこなくなってしまうこともあることを理解してほしい。

(18) ○時間数の延長は徐々にやりたい。

○一部実習を午前中にやる。又，海上実習も午前中になるであろう。

○入学人数は教育総局・漁業局との協議で決定していく。雇用との関係がある（就職先がないということにもなる）。

○自由試験をなくするも，徐々に止めることになろう。

○ア国では，漁船組合，船員組合の力が大きく，労働問題が起きないよう注意を要する。

○組合と学校とは良い関係にある（cf. Venturaによる奨学金の供与）。

○終身雇用がないので，奨学金が与えられることは少なく，特殊な状況にある。

(19) 訓練船のクルーの予定

船　長	1名
機関士	1名
クルー	1名
教員，助手	1～2名
（漁労，航海，機関）	

曳網実習，機関・航海の実習，操船実習

(20) そ の 他

① 甲板コース，上級資格の2つは無いものと同じ（法改正はしていない）。

② 生徒の欠席は，1週間のみ許される（cf 健康理由上）。約10％くらいが脱落する。

③ Venturaは，奨学金を与えており，卒後同じ会社（漁業会社）へ戻る。（他の会社は余り与えない）

④ 会社見学，INIDEPの船の見学，海軍のタグボード，小船での実習（漁船ではない）

⑤ Motorista ― 45人の応募あり，12人入学した。倍率2倍，上級に行くに従って，cf 倍率，0.9倍となる。

⑥ 漁船員の給与は高いので，下船して学校に行きたがらない（下船中，給与なく，生活できない）。

自由試験を受けたがるのが問題，船員の方は自由試験の継続を望む。

⑦ 教育Loanの制度なし。

一覧表

	'85	'86
海軍教育総局		
局長	nante	
局長		
次長		
顧問		
外務省		
企画庁（大統領府		
企画調整局		

アルゼンティン国立漁業学校プロジェクト関係者（主要）一覧表

		'83	'84	'85	'86
海軍教育総局	(Dirección General de Instrucción Naval, Armada Argentina)				
局長	(Director de DGIN)	Carlos Alberto A. Bonino（12月）	Ernesto F. Diamante		
局長	(Director de Instalaciones Fijas Navales)	Carlos R. Ballestero			
次長	(Subdirector de DGIN)	Juan Carlos Moeremas			
顧問	(海軍人事部, Asesor, Departament Personal de la Marina, DGIN)	Juan Alberto Romanella			
外務省	(Ministerio de Relaciones Exteriores y Relagiones)				
	経済協力局長	Musachio			
	元横浜総領事	Tomas F. Arias Colombres (Consejero de Embajada)			
企画庁（大統領府）	Secretaria de Planeamiento				
企画調整局	(Subsecretaria de Coordinación y Planeamiento				
	Vice - Comodoro	Jorge Bonnesserre			
	二国間協力課長 (Jefe, División de Cooperación Bilateral)	Liliana Goenaga			

アルゼンティン国立漁業学校プロジェクト関係者（主要）一覧表

	'83	'84	'85	'86
経済省海洋庁 (Ministerio de Economia, Secretaria de Intereses Maritimos)				
漁業局長 (Subsecreatrio, Subsecretaria de Pesca)	Raul R. Fermepin			
国立漁業学校 (Escuela Nacional de Pesca)				
校　長 (Director)	Justo Alberto Ortiz			
副校長 (Regente)	Alfonso David Giavedoni			
教　授（漁具漁法）	Diego R. Maqui			
教　授（漁獲物処理）	Yves Marcelo Ghys			
その他				
マルデルプラタ港湾 (Puerto Mar del Plata)				
マルデルプラタ・ケケン港湾長 (Capitán de Puertos de Quequén y Mar del Plata)	Milciades Leancio Espoz Espoz			
マルデルプラタ税関 (Prefectura Mar del Plata)				
税関長 (Jefe)	Fortunato Cesar Benasulin			
マルデルプラタ漁類専門国立市場 (Mercadó Nacional de Concentración Pesquera del	Puerto Mar del Plata			
Director General de Operaciones	Jorge M. Stern			

アルゼンティン国立漁業学校プロジェクト関係者（主要）一覧表

	'83	'84	'85	'86
国立漁業調査開発研究所　(INIDEP = Instituto Nacional de Investigación y Desarrollo Pesquero)				
Director General de Administración	Juan Pedro Villemur			
Jefe, Departamento de Artes de Pesca y Técnicas de Captura	Rubén Ercoli			
Jefe, Departamento de Tecnologia de Productos Pesqueros	Roque H. Calabrese			
Director de Buques	Hector O. Colangelo			
Departamento de Extensión	Bernardo Fillastre			
その他				
Jose U. P. Sieghart (Ingeniero Civil)				
Fernando Sagardia (Arquitecto)				

合同委員会

目　的

(1) ＴＩＰに沿った年間作業計画の立案

(2) 技協の全体的進捗及び上記計画の達成状況のレビュー

(3) 主要問題にかかる意見交換，レビュー

日　本　側	アルゼンティン側
(a) チーフ・アドバイザー	(a) 議　長
(b) 調 整 員	海軍教育総局長
(c) 専 門 家	(b) メンバー
(d) ＪＩＣＡ代表	国立漁業学校
	校　長
	副 校 長
	総務部長
	教務 〃
	調達 〃
	国立漁業調査開発研究所
	所　長

オブザーバー

(1) 日本大使館員

(2) ア国企画庁，企画調整局代表

(3) ア国経済省，海洋庁代表

日本人専門家	ア側プロジェクト関係者
1　チーフ・アドバイザー	1　国立漁業学校　校　長
2　調整員	2　〃　副校長
3　専門家 (1)　漁具漁法 (2)　漁獲物処理 (3)　漁業，航海計器	3　〃　総務部長 教務部長 調達部長 4　カウンターパート (1)　漁具漁法 (2)　漁獲物処理 (3)　漁業，航海計器 5　訓練船　船長，機関長 6　事務人員 (1)　事務・サービス職員 (2)　運転手，補助員

JICA